

# TASCAM

TEAC PROFESSIONAL

D01082601B

# MD-02

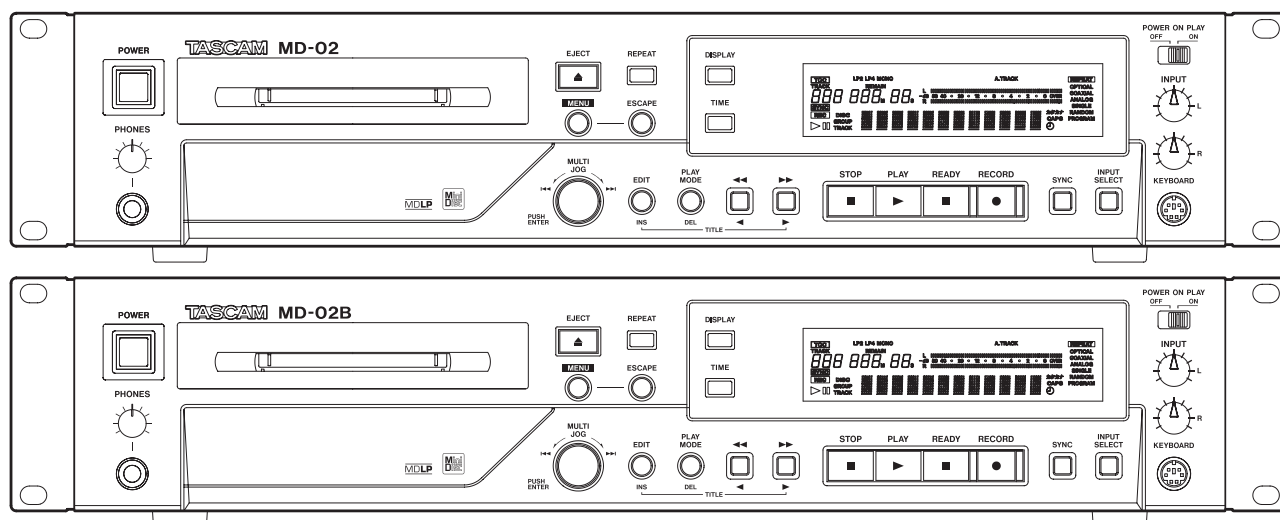
# MD-02B

## MiniDisc Deck

取扱説明書





MDLP






# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は、次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




## 表示の意味

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。




## 絵表示の例

	△ 記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



## 警告

	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。
	万一機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器を使用できるのは、日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には、接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

## ⚠ 警告

	<p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器のカバーは、絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は、販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。</p> <p>この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器の上に花瓶や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は、火災・感電の原因となります。</p>

## ⚠ 注意

	<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。</p>
	<p>オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p> <p>この機器は、コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードセットをご使用下さい。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。</p> <p>次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所</li> <li>・ 湿気やほこりの多い場所</li> <li>・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所</li> </ul> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</p> <p>付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>5年に一度くらいは、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p>

## 電池の取り扱いについて

本製品は、電池を使用しています。誤った使用による発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

### 警告 (乾電池に関する警告)



乾電池は、絶対に充電しないでください。  
乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

### 警告 (電池に関する警告)



電池を入れるときは、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、電池ケースに表示しているとおりに正しく入れてください。

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

保管や廃棄をする場合は、他の電池や金属製のものとは接触しないように、テープなどで端子を絶縁してください。

使い終わった電池は、電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村の廃棄方法に従って捨ててください。



指定以外の電池は、使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を金属製の小物類と一緒に携帯、保管しないでください。電池がショートして液もれや破裂などの原因となることがあります。

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。

液が目に入った時には失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。液が体や衣服に付いた時は、皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

電池の挿入や交換は、本機の電源を切った状態で行ってください。

長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。

電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。

もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。



分解しないでください。

電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

安全にお使いいただくために .....	2	第6章 録音する .....	21
電池の取り扱いについて .....	4	録音モードを設定する .....	21
第1章 はじめに .....	6	入力信号を選択する .....	21
本機の概要 .....	6	入力信号をモニターする .....	21
MD-02とMD-02Bの違い .....	6	録音レベルを調整する .....	22
本製品の構成 .....	6	メインメニュー内のREC VOLUMEを使って調節 .....	22
本書の表記 .....	6	録音を実行する .....	22
知的財産権に関して .....	6	録音するときの注意 .....	22
設置上の注意 .....	7	トラック番号を更新する（繰り上げる） .....	22
結露について .....	7	自動でトラック番号を高背負する（オートトラック機能） .....	22
製品のお手入れ .....	7	オートトラック動作時間設定 .....	23
MD（ミニディスク）の取り扱いについて .....	7	手でトラック番号を更新する .....	23
U-TOCについて .....	7	録音後にトラック番号を更新する .....	23
アフターサービス .....	7	フェードイン/フェードアウト録音 .....	23
第2章 各部の名称と働き .....	8	メニューでフェードインタイム/ フェードアウトタイムを設定する .....	23
フロントパネル .....	8	シンク録音する .....	24
リアパネル .....	10	MDの残り時間を確認する .....	24
ディスプレイ .....	11	第7章 MDの編集 .....	25
ワイヤレスリモコン（RC-MD02） .....	12	編集操作について .....	25
第3章 準備 .....	14	編集対象トラック/ポイントについて .....	25
オーディオ機器の接続 .....	14	編集を実行しないで途中でやめるには .....	25
リモコンを準備する .....	15	タイトルの入力方法 .....	25
乾電池の入れ方 .....	15	ディスクタイトルを付ける .....	25
乾電池の交換時期 .....	15	トラックタイトルを付ける .....	26
乾電池についての注意 .....	15	グループタイトルを付ける .....	26
リモコン使用上の注意 .....	15	トラックを分割する（DIVIDE） .....	26
リモコン操作の設定 .....	15	トラックを結合する（COMBINE） .....	27
第4章 メニューの操作 .....	16	トラックを移動する（MOVE） .....	27
メニューの構成 .....	16	グループを作る .....	28
メインメニュー .....	16	グループを解除する .....	28
編集メニュー .....	16	全トラックを消去する（ERASE DISC） .....	28
メニュー操作の基本 .....	17	トラックを消去する（ERASE TRK） .....	29
第5章 再生する .....	18	第8章 コンピューターキーボードを使った操作 .....	30
再生可能なMDについて .....	18	キーボードタイプの設定 .....	30
再生モードについて .....	18	キーボードを使ってタイトルを入力する .....	30
再生の基本操作 .....	18	キーボード操作一覧 .....	30
モニターについて .....	18	第9章 サービスデータの確認 .....	31
選曲する .....	18	サービスデータの確認 .....	31
スキップ機能を使う .....	18	各種設定の初期化 .....	31
トラックを番号指定する .....	18	第10章 システム上の制約 .....	31
サーチする .....	18	第11章 メッセージ一覧 .....	32
繰り返し再生する（リピート再生） .....	18	動作メッセージ .....	32
パワーオンプレーをする .....	19	警告メッセージ .....	32
希望の曲を希望の順に再生する（プログラム再生） .....	19	第12章 トラブルシューティング .....	33
プログラム内容を確認するには .....	19	第13章 仕様 .....	34
プログラムを全て削除する .....	19	定格 .....	34
プログラム曲を削除する .....	19	入出力定格 .....	34
プログラム曲を追加する .....	19	アナログオーディオ入出力定格 .....	34
プログラム上の制約 .....	19	デジタルオーディオ入出力定格 .....	34
プログラムデータの保持に関して .....	20	コントロール入力定格 .....	34
ランダムに再生する（ランダム再生） .....	20	オーディオ性能 .....	34
時間や文字情報の表示を切り換える .....	20	バックアップメモリー .....	34
時間表示を切り換える .....	20	一般 .....	35
キャラクター表示を切り換える .....	20	寸法図 .....	35
グループ再生 .....	20		
グループ再生の設定 .....	20		

# 第1章 はじめに

このたびは、TASCAM MiniDisc Deck MD-02/MD-02Bをお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいたうえで、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://www.tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

## 本機の概要

- ST (ステレオ) / MONO / LP2 / LP4対応 (1つのMD内で異なるモードで録音/再生可能)
- ERASE、DIVIDE、COMBINE、MOVE、TITLEのトラック編集
- 複数のトラックをグループ化することができ、グループ内トラックを再生する、グループ再生モード
- オートトラック機能 (LEVEL/TIME/OFF)
- 録音中にRECORDキーを押すことにより、トラック番号の更新可能
- 入力信号により自動的に録音を開始する、シンク録音機能 (アナログ入力時: -41dB、デジタル入力時: -61dB)
- MDをセットしていない状態で入力信号をモニター可能
- 入りにデジタル・ボリュームを装備 (-∞、-48 ~ +12dB)
- フェードイン/フェードアウト録音機能 (1 ~ 10秒、1秒ステップ)
- 全曲再生/プログラム再生 (最大32トラック) / ランダム再生
- シングルリピート/全曲リピート/プログラムリピート/ランダムリピート再生
- 電源オン時に自動的に再生を開始するパワーオンプレー機能
- 再生時: トラック経過時間/トラック残量時間を切り換えて表示
- 録音時: トラック経過時間/MD残量時間を切り換えて表示
- RCAアナログアンバランス入出力端子
- XLRアナログバランス入出力端子 (MD-02Bのみ)
- COAXIAL/OPTICALデジタル入出力端子を装備
- サンプリングレートコンバーター搭載 (32kHz/48kHzのデジタル信号を44.1kHzに変換)
- PS/2キーボードでのリモートコントロールやタイトル入力可能
- ワイヤレスリモコンを標準装備
- 2Uラックマウントサイズ

## MD-02とMD-02Bの違い

MD-02Bは、MD-02にXLRバランス入出力を追加したモデルです。MD-02Bのリアパネルには、XLRのバランス入出力端子があります。また、MD-02Bの入力信号の選択には、XLRバランスアナログ入力の選択ができます (ディスプレイ内の“ANALOG”が点滅)。

## 本製品の構成

本製品の構成は、次の通りです。

なお開梱は、本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。

付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、当社までご連絡ください。

● 本体	x1
● 電源コード	x1
● ワイヤレスリモコン (RC-MD02)	x1
● 単4形乾電池	x2
● ラックマウントビスキット	x1
● 保証書	x1
● 取扱説明書 (本書)	x1

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- MD-02Bにのみに対応している内容を (MD-02Bのみ) と表記します。
- 「ミニディスク」のことを「MD」と表記します。
- 本機および外部機器のキー/端子などを「MENUキー」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を“REPEAT”のように“\_”で括って表記します。
- ディスプレーのメイン表示部にディスク情報やトラック情報を表示している状態を「通常表示」と呼びます。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 知的財産権に関して

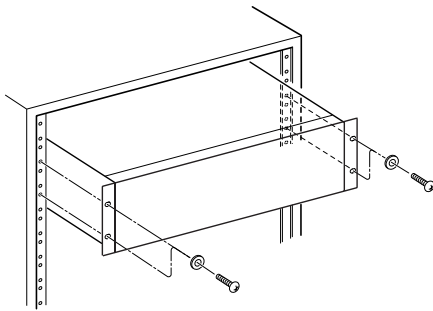
- TASCAMは、ティアック株式会社の登録商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者の知的財産権の侵害の責任、又は、これらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。  
弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担致しません。

## 設置上の注意

- 本製品の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 本製品は、水平に設置してください。
- 放熱を良くするために、本製品の上には、物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本製品を置かないでください。
- 本製品をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。  
なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上（5cm以上）のスペースを開けてください。



## 結露について

本製品を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1～2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

## 製品のお手入れ

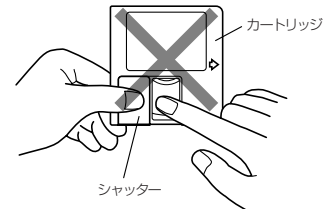
製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛めたり色落ちさせる原因となります。

## MD（ミニディスク）の取り扱いについて

MDは、カートリッジに収納されています。カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になることがあります。いつでもいい音で楽しめるように、次のことに注意ください。

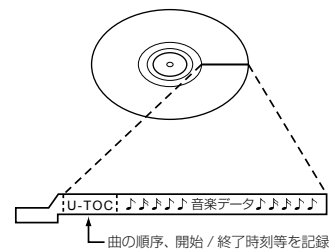
- MDを使用した後は、必ず取り出してMDケースに入れて保管してください。
- シャッターを開け、中のディスクにさわらないでください。また、無理にシャッターを開けると壊れることがあります。
- 直射日光が当たる所や温度が高くなる所、また湿気の多い所に置かないでください。

- MDカートリッジ表面のほこりは、乾いた布で拭き取ってください。
- MDカートリッジにラベルを貼るときは、指定の位置に正しく貼ってください。ラベルがめくれれたり、浮いているとMDが内部につまって取り出せない原因となることがあります。
- ラベルを重ねて貼らないでください。



## U-TOCについて

録音用MDは、録音した曲を編集することができます。録音した曲の情報（開始アドレス、終了アドレス、タイトル他）をU-TOC（User Table of Contents）というところに記録しています。編集によって、この部分が書き換わります。

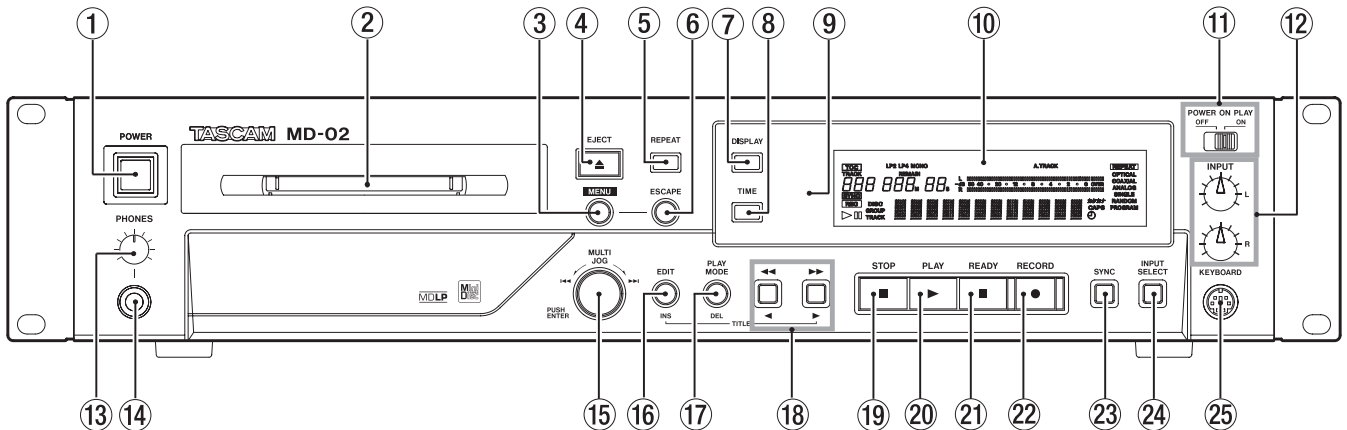


## アフターサービス

- 本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センターが修理いたします。ただし、保証期間内であっても使用1,000時間を超えた場合の故障および損傷は有償になります。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センターなどにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから次の事項を確認の上、お買い上げ店またはティアック修理センターまでご連絡ください。  
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番（MD-02またはMD-02B）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、巻末をご参照ください。

## 第2章 各部の名称と機能

### フロントパネル



#### ① POWERスイッチ

電源をオン/オフします。

#### 注意

電源を入れる前には、接続機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

#### ② MD挿入口

録音または再生するMDを挿入します。

ラベル面を上にして、矢印の向きに差し込みます。

#### ③ MENUキー

メニューモードのオン/オフを行います (→ 16ページ「メニューの操作」)。

#### ④ EJECTキー

MDを取り出すときに押します。

#### ⑤ REPEATキー

リピート (繰り返し) 再生モードの切り換えを行います (→ 19ページ「繰り返し再生する (リピート再生)」)。

リピートモード選択は、電源を切っても記憶しています。

#### 注意

- シングルリピートモードの時に電源を切った場合は、次の電源オン時にはオールリピートモードとなります。
- シングルリピートモードの時にSTOPキーを押した場合は、オールリピートモードになります。

#### ⑥ ESCAPEキー

メニューモードにおいて、このキーを押すことにより、一つ前のメニュー階層に戻ります (→ 17ページ「メニュー操作の基本」)。

#### ⑦ DISPLAYキー

停止中にこのキーを押すと、現在のディスクタイトルをディスプレイに表示し、再生中または再生待機中に押すと、現在のトラックタイトルを表示します (→ 20ページ「時間や文字情報の表示を切り換える」)。

タイトル入力時は、キャラクタータイプの切り換えを行います (→ 25ページ「タイトルの入力方法」)。

→ 英小文字 → 英大文字 → カタカナ

#### ⑧ TIMEキー

ディスプレイに表示する時間表示を切り換えます (→ 20ページ「時間や文字情報の表示を切り換える」)。

再生時: トラック経過時間 ↔ トラック残り時間

録音時: 録音経過時間 ↔ ディスク残り時間

時間表示設定は、電源を切っても記憶しています。

#### ⑨ リモコン受光部

付属のワイヤレスリモコン (RC-MD02) の信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

#### ⑩ ディスプレー

さまざまな情報を表示します (→ 11ページ「ディスプレイ」)。

#### ⑪ POWER ON PLAYスイッチ

パワーオンプレーの設定を行います。PLAY側に設定しておくと、MDをセットした状態で本機の電源を入れたときに本機が自動的に再生を始めます (→ 19ページ「パワーオンプレーをする」)。

#### ⑫ INPUT (L, R) つまみ

アナログ入力レベルを調整します (→ 22ページ「録音レベルを調節する」)。L, R独立して調節が可能です。



## ⑬ PHONESつまみ

ヘッドホン出力レベルを調節します。  
PHONESジャックから出力する音声のボリュームを調節します。

## 注意

ヘッドホンを接続する前には、PHONESつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

## ⑭ PHONESジャック

ステレオヘッドホンを接続するためステレオ標準ホンジャックです。ミニプラグのヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

## ⑮ MULTI JOGダイヤル / ENTERキー

このダイヤルを回すとMULTI JOGダイヤルとして働き、押すとENTERキーとして機能します。

## MULTI JOGダイヤル機能：

プログラムモード時、登録トラックを選択します。  
メニューモード時、メニュー項目や設定値を選択します。  
タイトル入力モード時、入力キャラクターを選択します。  
編集メニューモード時、編集メニュー項目を選択します。  
上記以外の場合は、トラックスキップを行います。

## ENTERキー機能：

プログラムモード時、選択トラックを確定します。  
メニューモード時、メニュー項目や設定値を確定します。  
タイトル入力モード時、入力キャラクターを確定します。  
編集メニューモード時、編集メニュー項目を確定します。

## ⑯ EDIT [INS] キー

編集メニューモードのオン/オフをします（→25ページ「MDの編集」）。  
タイトル入力モード時、このキーを押すと、カーソル位置にスペースを挿入します（→25ページ「ディスクタイトルを付ける」）、（→26ページ「トラックタイトルを付ける」）、（→26ページ「グループタイトルを付ける」）。

## ⑰ PLAY MODE [DEL] キー

再生モードを切り換えます（→18ページ「再生モードについて」）。

→ Continue → Program → Random

再生モードは、電源を切っても記憶しています。  
タイトル入力モード時、このキーを押すと、カーソル位置の文字を削除します（→25ページ「タイトルの入力方法」）。

## ⑱ ◀▶/▶▶ [◀▶] キー

再生中または一時停止中に、◀▶キーを押すと早戻しサーチ、▶▶キーを押すと早送りサーチを行います。  
グループ再生モード時、グループ登録がされており、停止状態で押すと、グループ選択を行います（→20ページ「グループ再生」）。  
タイトル入力モード時、カーソルの移動を行います（→25ページ「タイトルの入力方法」）。

## ⑲ STOPキー

録音や再生を停止します。  
プログラム再生モード時で停止中にこのキーを押すと、登録されたプログラムを全て削除します（→19ページ「希望の曲を希望の順に再生する（プログラム再生）」）。  
タイトル入力モード時にこのキーを押すと、入力内容をキャンセルし、タイトル入力モードを抜けます（→25ページ「タイトルの入力方法」）。

## ⑳ PLAYキー

停止／再生待機中にこのキーを押すと、再生を開始します。  
録音待機中にこのキーを押すと、録音を開始します。

## ㉑ READYキー

停止／再生中にこのキーを押すと、再生待機になります。  
録音中にこのキーを押すと、録音待機になります。

## ㉒ RECORDキー

録音可能なMDをセットして停止しているときにこのキーを押すと、録音待機になります。  
録音待機になると、入力信号をモニターすることができます。  
録音中にこのキーを押すと、トラックナンバーを更新（1つ繰上げ）します（→22ページ「トラック番号を更新する（繰り上げる）」）。  
MDをセットしない状態でこのキーを押すと、入力信号をモニターする（ヘッドホンやリアパネルの出力端子から出力することができます（→21ページ「入力信号をモニターする」））。

## ㉓ SYNCキー

シンク録音のオン/オフを切り換えます（→24ページ「シンク録音する」）。

## ㉔ INPUT SELECTキー

録音する入力信号（入力端子）を選択します（→21ページ「入力信号を選択する」）。

→ OPTICAL → COAXIAL → ANALOG (点灯)  
ANALOG (点滅、MD-02Bのみ)

“OPTICAL”：OPTICAL端子のデジタル入力

“COAXIAL”：COAXIAL端子のデジタル入力

“ANALOG”（点灯）：RCAアンバランスアナログ入力

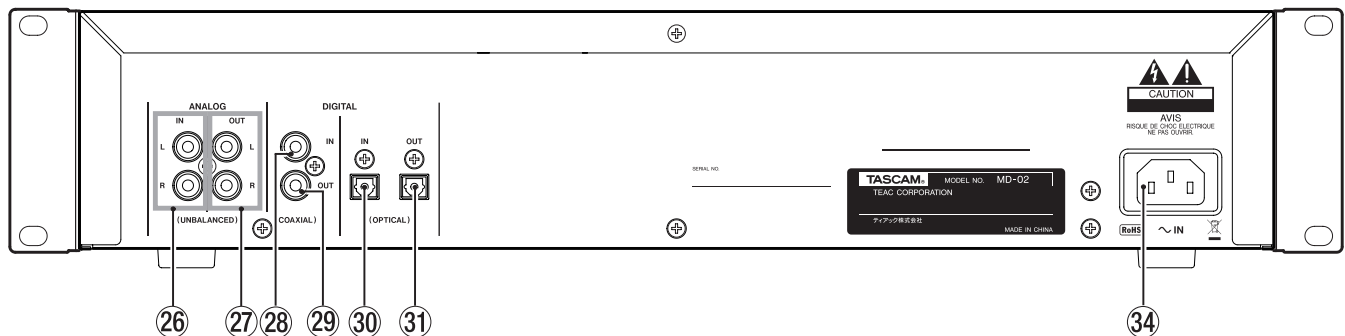
“ANALOG”（点滅）：XLRバランスアナログ入力（MD-02Bのみ）

## ㉕ KEYBOARD端子

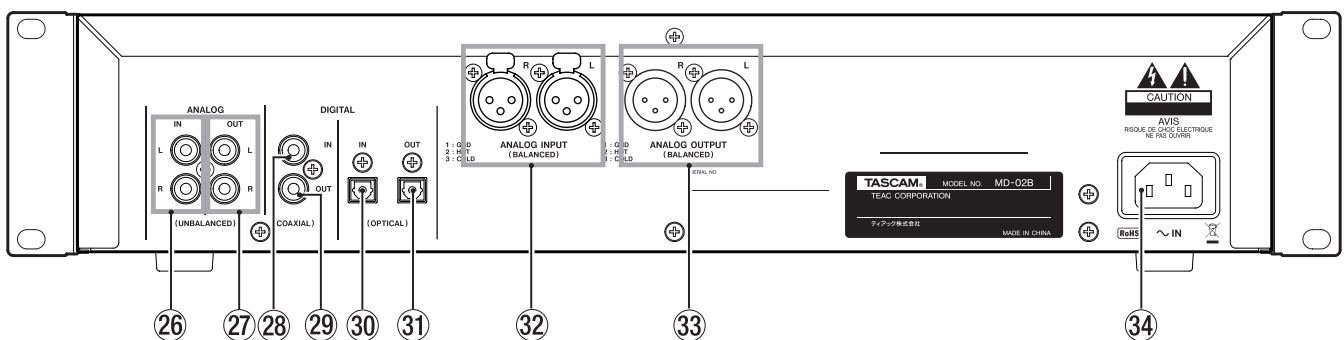
IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。  
初期設定は、JPキーボード用に設定されています。USキーボードは、日本語用のキーボードと配列が異なるため、USキーボードを使う場合には、メニューで設定を変更してください（→30ページ「キーボードタイプの設定」）。

### リアパネル

#### MD-02リアパネル



#### MD-02Bリアパネル



#### ②6 ANALOG INPUT L/R [UNBALANCED] 端子

アナログライン入力端子（RCAピンジャック）です。  
規定入力レベルは $-10\text{dBV}$ です。

#### ②7 ANALOG OUTPUT L/R [UNBALANCED] 端子

アナログライン出力端子（RCAピンジャック）です。  
規定出力レベルは $-10\text{dBV}$ です。  
録音時、録音待機時、モニター時は、選択した入力信号を出力します。

#### ②8 DIGITAL INPUT [COAXIAL] 端子

IEC60958-3 (S/PDIF) に準拠したCOAXIALデジタル入力端子です。  
サンプリングレートコンバーター機能を搭載していますので、 $44.1\text{kHz}$ 以外に、 $32\text{kHz}$ 、 $48\text{kHz}$ のデジタル信号を入力できます。

#### ②9 DIGITAL OUTPUT [COAXIAL] 端子

IEC60958-3 (S/PDIF) に準拠したCOAXIALデジタル出力端子です。  
録音時、録音待機時、モニター時は、選択した入力信号を出力します。デジタル入力を選択している場合は、そのデジタル入力をそのままスルー出力します。

#### ③0 DIGITAL INPUT [OPTICAL] 端子

IEC60958-3 (S/PDIF) に準拠したOPTICALデジタル入力端子です。  
サンプリングレートコンバーター機能を搭載していますので、 $44.1\text{kHz}$ 以外に、 $32\text{kHz}$ 、 $48\text{kHz}$ のデジタル信号を入力できます。

#### ③1 DIGITAL OUTPUT [OPTICAL] 端子

IEC60958-3 (S/PDIF) に準拠したOPTICALデジタル出力端子です。

録音時、録音待機時、モニター時は、選択した入力信号を出力します。デジタル入力を選択している場合は、そのデジタル入力をそのままスルー出力します。

#### ③2 ANALOG INPUT L/R [BALANCED] 端子 (MD-02Bのみ)

アナログ入力端子（XLRバランス）です。規定入力レベルは、 $+4\text{dBu}$ です（1：GND、2：HOT、3：COLD）。

#### ③3 ANALOG OUTPUT L/R [BALANCED] 端子 (MD-02Bのみ)

アナログ出力端子（XLRバランス）です。規定出力レベルは、 $+4\text{dBu}$ です（1：GND、2：HOT、3：COLD）。

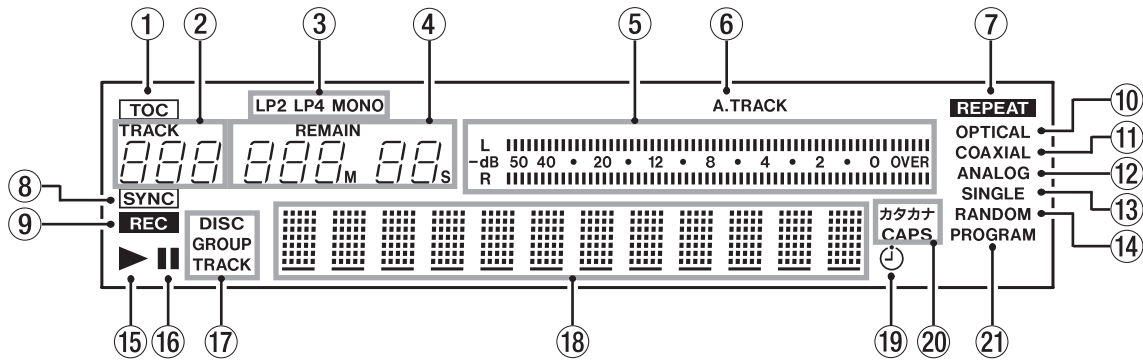
録音時、録音待機時、モニター時は、選択した入力信号を出力します。

#### ③4 AC IN コネクター

付属の電源コードを接続します。

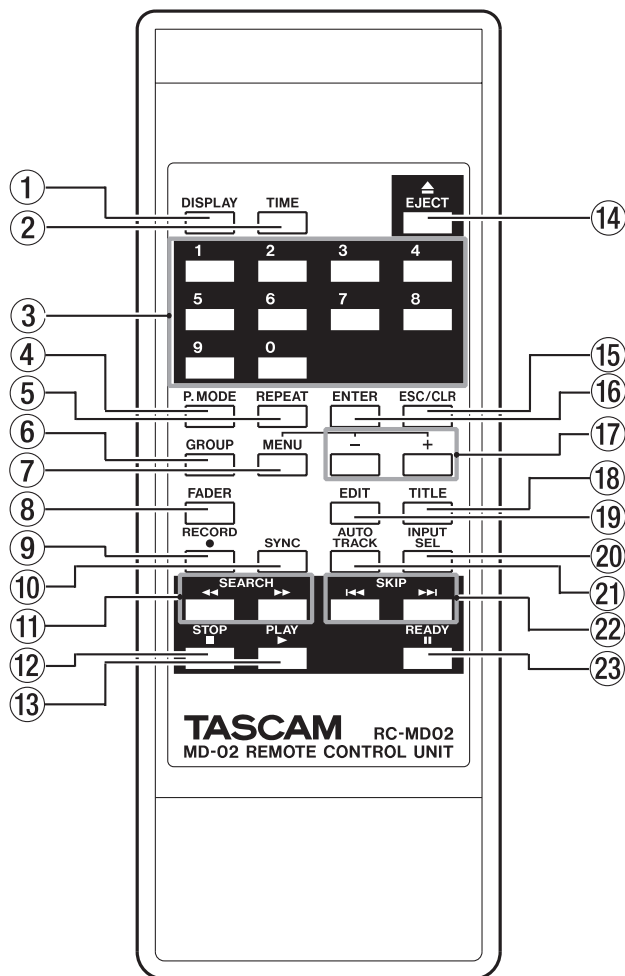
## ディスプレイ

本機のディスプレイには、以下の情報を表示します。



- ① **TOC**  
最新のU-TOC情報がMDに記録されていない場合に点灯します。U-TOC記録中は、点滅します。
- ② **トラック番号表示部**  
再生中/選択中のトラック番号を表示します。
- ③ **MD録音モード表示 (LP2、LP4、MONO)**  
録音モードを表示します。ステレオモード時は、何も点灯しません。なお再生中は、再生しているMDの録音モードを表示します。
- ④ **カウンター表示部**  
経過時間、残り時間を表示します。残り時間表示中は“REMAIN”が点灯します。カウンター表示は、分(3桁)秒(2桁)です。
- ⑤ **レベルメーター**  
再生レベルおよび録音入力レベルを表示します。
- ⑥ **A.TRACK**  
オートトラック機能がオンのとき点灯します。録音中および録音待機中、オートトラック機能がTimeに設定されているとき(録音中、一定時間間隔で自動的にトラックを繰り上げる)は点滅します。
- ⑦ **REPEAT**  
リピート再生モードがオンのとき点灯します。
- ⑧ **SYNC**  
シンク録音モードがオンのときに点灯します。
- ⑨ **REC**  
録音中または録音待機中、点灯します。
- ⑩ **OPTICAL**  
入カソースをOPTICAL(デジタル)に設定したとき点灯します。
- ⑪ **COAXIAL**  
入カソースをCOAXIAL(デジタル)に設定したとき点灯します。
- ⑫ **ANALOG**  
入カソースをUNBALANCE(アナログ)にしたとき点灯し、BALANCE(アナログ、MD-02Bのみ)にしたとき点滅します。
- ⑬ **SINGLE**  
シングルリピートモードのとき点灯します。
- ⑭ **RANDOM**  
ランダム再生モードのとき点灯します。
- ⑮ ▶  
再生中または録音中、点灯します。
- ⑯ ||  
録音または再生の待機(一時停止)中、点灯します。
- ⑰ **DISC、GROUP、TRACK表示**  
MDをセットして、停止中のときに“DISC”が点灯します。グループモードがオンのとき、“GROUP”が点灯します。再生および再生待機中、“TRACK”を表示します。
- ⑱ **メイン表示部**  
ディスク情報、トラック情報、メニュー、メッセージ、動作ステータスなどを表示します。
- ⑲ **タイマー (⌚)**  
パワーオンブレイ機能がオンのときに点灯します。また、パワーオンブレイ機能がオンでMDが入っていないときに点滅します。
- ⑳ **カタカナ、CAPS**  
タイトル入力時のキャラクターモードがカタカナ、英大文字のときに“カタカナ”、“CAPS”がそれぞれ点灯します。英小文字のときは、何も点灯しません。
- ㉑ **PROGRAM**  
プログラム再生モードのとき点灯します。

### ワイヤレスリモコン (RC-MD02)



#### ① DISPLAYキー

停止中にこのキーを押すと、現在のディスクタイトルをディスプレイに表示し、再生中または再生待機中に押すと、現在のトラックタイトルを表示します（→20ページ「時間や文字情報の表示を切り換える」）。

タイトル入力時は、キャラクタータイプの切り換えを行います。

#### ② TIMEキー

ディスプレイのメイン表示部に表示する時間表示を切り換えます（→20ページ「時間や文字情報の表示を切り換える」）。

時間表示設定は、電源を切っても記憶しています。

#### ③ テンキー

トラック番号を入力するのに使用します。

#### ④ P.MODEキー

再生モードを切り換えます（→18ページ「再生モードについて」）。

→ Continue → Program → Random

再生モードは、電源を切っても記憶しています。

#### ⑤ REPEATキー

リピート（繰り返し）再生モードの切り換えを行います（→19ページ「繰り返し再生する（リピート再生）」）。

リピートモード選択は、電源を切っても記憶しています。

#### 注意

- シングルリピートモードの時に電源を切った場合は、次の電源オン時にはオールリピートモードとなります。
- シングルリピートモードの時にSTOPキーを押した場合は、オールリピートモードになります。

#### ⑥ GROUPキー

グループ再生モードのオン/オフを行います（→20ページ「グループ再生」）。

#### ⑦ MENUキー

メニューモードのオン/オフを行います（→16ページ「メニューの操作」）。

#### ⑧ FADERキー

録音待機中に押すとフェードイン録音、録音中に押すとフェードアウト録音を行います（→23ページ「フェードイン/フェードアウト録音」）。

#### ⑨ RECORDキー

録音可能なMDをセットして停止しているときにこのキーを押すと、録音待機になります。録音待機になると、入力信号をモニターすることができます。

録音中にこのキーを押すと、トラックナンバーを更新（1つ繰上げ）します（→22ページ「トラック番号を更新する（繰り上げる）」）。

MDをセットしない状態でこのキーを押すと、入力信号をモニターする（ヘッドホンやリアパネルの出力端子から出力）することができます（→21ページ「入力信号をモニターする」）。

#### ⑩ SYNCキー

シンク録音のオン/オフを切り換えます（→24ページ「シンク録音する」）。

#### ⑪ SEARCH <</>> キー

再生中または一時停止中に、<<キーを押すと早戻しサーチ、>>キーを押すと早送りサーチを行います。

グループ再生モード時、グループ登録がされており、停止状態で押すと、グループ選択を行います（→20ページ「グループ再生」）。

タイトル入力モード時、カーソルの移動を行います（→25ページ「タイトルの入力方法」）。

#### ⑫ STOPキー

録音や再生を停止します。

プログラム再生モード時で停止中にこのキーを押すと、登録されたプログラムを全て削除します（→19ページ「希望の曲を希望の順に再生する」）。

タイトル入力モード時にこのキーを押すと、入力内容をキャンセルし、タイトル入力モードを抜けます（→25ページ「タイトルの入力方法」）。

**⑬ PLAYキー**

停止／再生待機中にこのキーを押すと、再生を開始します。  
録音待機中にこのキーを押すと、録音を開始します。

**⑭ EJECTキー**

MDを取り出すときに押します。

**⑮ ESC/CLRキー**

メニューモードにおいて、このキーを押すことにより、一つ前のメニュー階層に戻ります（→ 17ページ「メニュー操作の基本」）。

トラックナンバー入力中、このキーを押すとトラックナンバーをクリアします。

プログラム入力時、選択中のプログラムナンバーのトラックを削除します。

タイトル入力モード時、カーソル位置の文字を削除します。

**⑯ ENTERキー**

プログラムモード時、選択トラックを確定します。

メニューモード時、メニュー項目や設定値を確定します。

タイトル入力モード時、入力キャラクターを確定します。

編集メニューモード時、編集メニュー項目を確定します。

**⑰ -/+キー**

メニューモード時、メニュー項目や設定値を選択します（→ 17ページ「メニュー操作の基本」）。

**⑱ TITLEキー**

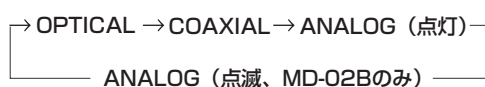
タイトル入力モードのオン/オフをします。（→ 25ページ「ディスクタイトルを付ける」）、（→ 26ページ「トラックタイトルを付ける」）、（→ 26ページ「グループタイトルを付ける」）。

**⑲ EDITキー**

編集メニューモードのオン/オフをします（→ 25ページ「MDの編集」）。

**⑳ INPUT SELキー**

録音する入力信号（入力端子）を選択します（→ 21ページ「入力信号を選択する」）。



“OPTICAL”：OPTICAL端子のデジタル入力

“COAXIAL”：COAXIAL端子のデジタル入力

“ANALOG”（点灯）：RCAアンバランスアナログ入力

“ANALOG”（点滅）：XLRバランスアナログ入力（MD-02Bのみ）

**㉑ AUTO TRACKキー**

オートトラック機能のオン/オフを切り換えます（→ 22ページ「トラック番号を更新する（繰り上げる）」）。

**㉒ SKIP ◀◀/▶▶キー**

プログラムモード時、登録トラックを選択します。

メニューモード時、メニュー項目や設定値を選択します。

タイトル入力モード時、入力キャラクターを選択します。

編集メニューモード時、編集メニュー項目を選択します。

上記以外の場合は、トラックスキップを行います。

**㉓ READYキー**

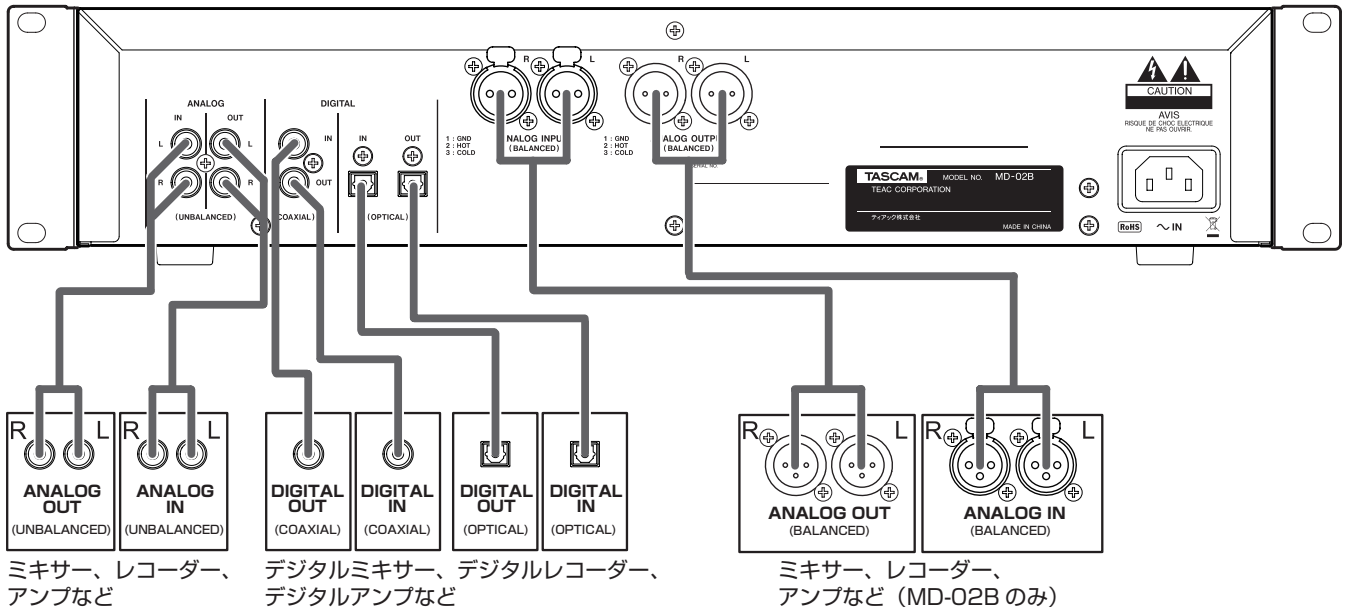
停止／再生中にこのキーを押すと、再生待機になります。

録音中にこのキーを押すと、録音待機になります

# 第3章 準備

接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。電源は、最後に接続してください。

## オーディオ機器の接続



### アナログオーディオ機器との接続

アナログのステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどを本機のアナログライン入出力端子に接続します。

#### メモ

- 本機には、ケーブルを付属していません。
- ピンコードは、電源コードやスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質の低下や雑音の原因となります。

### デジタルオーディオ機器との接続

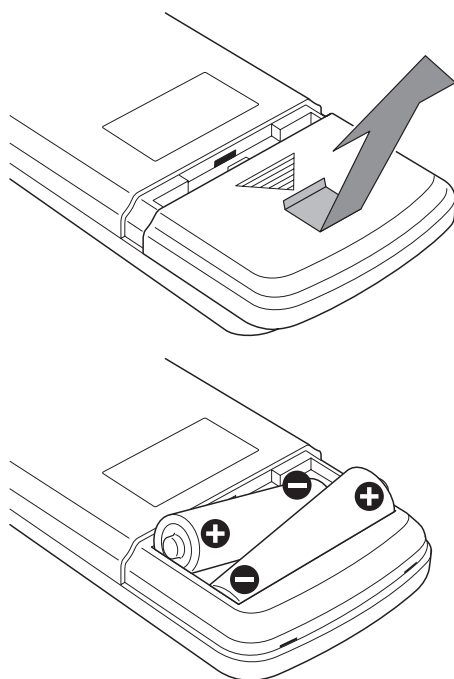
デジタルのステレオアンプ、ミキサー、レコーダーなどを本機の光デジタル入出力端子に接続します。

#### メモ

- 本機は、サンプリングレートコンバーターを搭載していません。MDのサンプリングレート (44.1kHz) と異なる32kHz、48kHzの信号をデジタル録音する事も可能です。

## リモコンを準備する

### 乾電池の入れ方



1. 裏側のふたを開けます。
2. ⊕、⊖ の向きに注意して、単4形乾電池を2本挿入します。
3. ふたを閉めます。

### 乾電池の交換時期

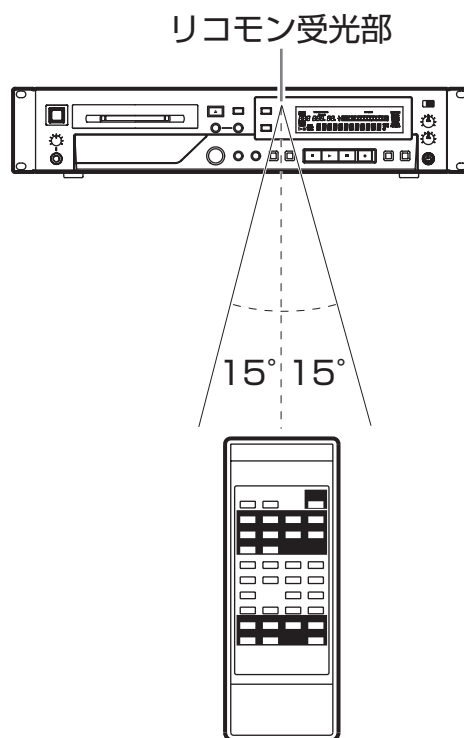
操作範囲が狭くなったり、操作キーを押しても動作しない場合は、2本同時に新しい乾電池に交換してください。

### 乾電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液もれや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示、および本書4ページをよくお読みください。

### リモコン使用上の注意

- 赤外線によりコントロールする他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンは、右図の範囲内でご使用ください。



### 動作距離

正面：7メートル以内

左右15度以内：7メートル以内

### リモコン操作の設定

本機を複数同時に使用する場合は、リモコンを使つての誤操作を防止するため、メニュー設定で、特定のキーを除いて、リモコンからの操作を受け付けなくすることができます。

1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーで“IR REMOTE?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーで“Disable”を選択します。
5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押して確定します。

### メモ

- リモコンのMENUキー、-キー、+キー、ENTERキー、ESC/CLRキーは常に使用可能です。
- 上記4.の操作で“Enable”を選択すると、リモコンからの操作を受け付けるようになります。

## 第4章 メニューの操作

本機では、各種設定をディスプレイのメイン表示部に表示されるメニュー項目、または編集メニューを使って行います。ここでは、本機のメニューモードの構成や基本操作について説明します。

### メニューの構成

本機のメニューは、メインメニューと編集メニューがあります。

#### メインメニュー

メインメニュー項目	機能	設定値（下線付きが初期値）	参照箇所	ページ
REC MODE?	録音モード設定	ST/MONO/LP2/LP4	「録音モードを設定する」	→ 21
A_TRK?	オートトラックモード設定	OFF/Level/Time	「自動でトラック番号を更新する（オートトラック機能）」	→ 22
A_TRK TIME?	A_TRK動作時間設定	1 ~ 10分/1分単位、 <u>5</u> 分	「オートトラック動作時間設定」	→ 23
REC VOLUME?	入力レベル調整	-∞, -48 ~ +12dB, <u>0</u> dB	「録音レベルを調節する」	→ 22
FADE IN?	フェードイン動作時間	1 ~ 10秒、1秒単位、 <u>3</u> 秒	「フェードイン／フェードアウト録音」	→ 23
FADE OUT?	フェードアウト動作時間	1 ~ 10秒、1秒単位、 <u>3</u> 秒	「フェードイン／フェードアウト録音」	→ 23
GROUP?	グループモードのオン／オフ	ON/OFF	「グループ再生」	→ 20
KEYBOARD?	接続キーボードタイプの設定	JP/US	「キーボードタイプの設定」	→ 30
IR REMOTE?	リモコン操作の設定	Enable/Disable（注1）	「リモコン操作の設定」	→ 15
F_PRESET?	各種設定を工場出荷状態に戻す	(注2)	「サービスデータの確認」	→ 31
PLAY_TIME?	積算再生時間の表示		「サービスデータの確認」	→ 31
REC_TIME?	積算録音時間の表示		「サービスデータの確認」	→ 31

(注1) MENU、+、-、ENTER、ESC/CLRキーは、“Disable”設定でも使用可能です。

(注2) “PLAY\_TIME”、“REC\_TIME”は除く。

#### 編集メニュー

編集メニュー項目	機能	参照箇所	ページ
TITLE INPUT?	ディスク、またはトラックのタイトルを付けます	ディスクタイトルを付ける	→ 25
		トラックタイトルを付ける	→ 26
TITLE GRPOUP?	グループのタイトルを付けます	グループタイトルを付ける	→ 26
DIVIDE?	トラックを分割します	トラックを分割する（DIVIDE）	→ 26
COMBINE?	トラックを結合します	トラックを結合する（COMBINE）	→ 27
MOVE?	トラックを移動して曲順を変更します	トラックを移動する（MOVE）	→ 27
GRP CREATE?	グループを作ります	グループを作る	→ 28
GRP CANCEL?	グループを解除します	グループを解除する	→ 28
ERASE DISC?	全トラックを消去します	全トラックを消去する（ERASE DISC）	→ 28
ERASE TRK?	指定したトラックを消去します	トラックを消去する（ERASE TRK）	→ 29

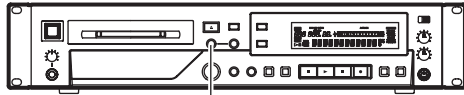


## メニュー操作の基本

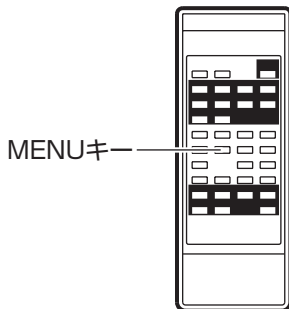
1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**キー（編集メニューの場合は、本体またはリモコンの**EDIT**キー）を押します。

メニューモードに入り、ディスプレイのメイン表示部がメニュー項目選択表示になります。

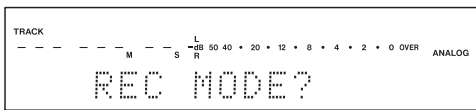
前回最後に選択したメニュー項目を最初に表示します。



MENUキー



MENUキー

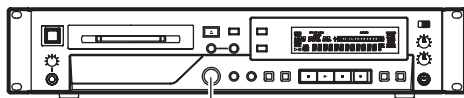


[メイン表示部（メニュー項目表示）]

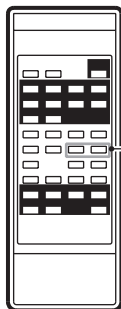
### メモ

メインメニュー項目選択表示を表示中に本体またはリモコンの**MENU**キー（編集メニューの場合は、本体またはリモコンの**EDIT**キー）を押すと、通常表示に戻ります。

2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**-/+**キーを使って、希望のメニュー項目を選択します。



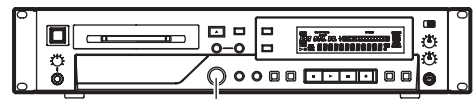
MULTI JOGダイヤル



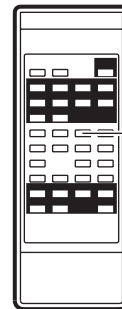
-/+キー

3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。

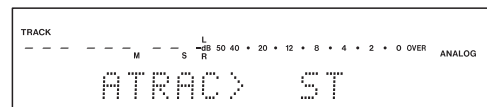
ディスプレイのメイン表示部にメニュー項目名と設定値を表示します。以下の要領で設定を行います。



MULTI JOGダイヤル



ENTERキー



[メイン表示部（メニュー詳細項目表示）]

4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**-/+**キーを使って、希望の設定値を選択します。

5. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押して確定します。

メイン表示部が通常表示に戻ります。

### メモ

- メインメニュー項目名と設定値を表示中に本体の**ESCAPE**キー、またはリモコンの**ESC/CLR**キーを押すと、メインメニュー項目選択表示に戻ります。
- 時間表示など、確認のみで設定のないメニュー項目もあります。
- メニューで設定終了後、本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押すと、設定値を確定した後、通常表示に戻ります。
- 設定（または確認）中（メニュー項目表示中）、本体またはリモコンの**MENU**キーを押すと、通常表示に戻ります。
- “**IR REMOTE?**” で “**Disable**” に設定すると、本機が特定のキーを除いてリモコンからの操作を受け付けなくすることができます。“**Enable**” に設定すると、リモコンからの全てのキー操作が可能となります。
- 編集メニューモードで編集項目を選択中に**EDIT**キーを押すと、編集メニューモードを抜けます。
- 編集メニューモードで編集操作を途中でやめたい場合は、**STOP**キーを押します。

## 第5章 再生する

### 再生可能なMDについて

本機は、ST（標準）、LP2、LP4またはMONOモードで記録したオーディオMDを再生することができます。

### 再生モードについて

本機は、3つの再生モードがあります。選択中の再生モードは、ディスプレイに点灯表示します。

- 通常再生（Continue）モード：無点灯
- プログラム再生モード：“PROGRAM”点灯
- ランダム再生モード：“RANDOM”点灯

再生モードは、本体のPLAY MODEキー、またはリモコンのP.MODEキーで切り換えられます。キーを押すたびにつぎの順に切り換わります。

→ Continue → Program → Random

本書では、特に断りがないかぎり通常再生モード（Continueモード）に設定している前提で説明します。

#### メモ

- 再生モードの切り換えは、停止時、もしくはMDを挿入していないときに可能です。再生中/再生待機中や録音中/録音待機中は、切り換えることができません。
- グループ再生モード時は、ランダム再生は選択できません。

### 再生の基本操作

- 本体のPOWERスイッチを押して電源を入れます。  
メイン表示部に“NO DISC”を表示します。
- ラベル面を上にして矢印の向きに、MDをMD挿入口に差し込みます。  
MDをセットすると、メイン表示部にディスクタイトル（付いている場合）、総トラック数および総再生時間を表示します。
- 本体またはリモコンのPLAYキーを押します。  
ディスプレイに“▶”が点灯し、1トラック目から再生が始まります。  
トラック番号表示部に再生中のトラック番号を表示します。

#### ●再生を止めるには

本体またはリモコンのSTOPキーを押します。

#### ●再生を一時停止するには

本体またはリモコンのREADYキーを押します。  
ディスプレイに“⏸”が点灯し、再生待機状態になります。再度、再生するには本体またはリモコンのPLAYキーを押します。

#### ●MDを取り出すには

本体またはリモコンのEJECTキーを押します。

#### ●希望のトラックを聞くには

本体操作の場合は、MULTI JOGダイヤルを使ってトラックを選択します。

リモコン操作の場合は、SKIP ◀◀/▶▶キーを使って選択するか、または直接テンキーを押して指定します（→18ページ「選曲する」）。

### モニターについて

#### ヘッドホンでモニターするには

本体のPOWERスイッチの下のPHONESジャックにヘッドホンのプラグを差し込み、PHONESつまみでレベルを調節します。

#### 注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げ過ぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

### 選曲する

#### スキップ機能を使う

本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのSKIP ◀◀/▶▶キーを使ってトラックを選択します。  
選曲後、本体またはリモコンのPLAYキーを押すと指定トラックの再生が始まります。また本体またはリモコンのREADYキーを押すと指定トラックの頭で再生待機になります。  
再生中に◀◀キーを1回押すと再生中のトラックの頭にスキップします。手前のトラックにスキップするには、◀◀キーを繰り返し押します。

#### トラックを番号指定する

リモコンのテンキーを使ってトラック番号を直接指定することができます。  
2桁や3桁のトラック番号の場合も単純に高い桁の数字から順に入力します。

- トラック9の場合：9を入力
- トラック12の場合：1 → 2を入力
- トラック103の場合：1 → 0 → 3を入力

入力後、リモコンのPLAYキーを押すと指定トラックの再生が始まります。リモコンのREADYキーを押すと指定トラックの頭で再生待機になります。

### サーチする

再生中（または再生待機中）、トラックの中の聞きたい部分をサーチすることができます。  
本体の◀◀/▶▶キー、またはリモコンのSEARCH ◀◀/▶▶キーを押し続けます。

### 繰り返し再生する（リピート再生）

本体またはリモコンのREPEATキーを押すことでリピートモードを選択することができます。

- Repeat OFF : “REPEAT” 無点灯  
 Repeat ALL : “REPEAT” 点灯  
 Repeat 1 : “REPEAT” 点灯 + “SINGLE” 点灯

再生中または再生待機中に押した場合は、次のように切り換わります。

→ OFF → Repeat ALL → Repeat 1

停止中に押した場合は、次のように切り換わります。

→ OFF → Repeat ALL

プログラム機能、ランダム機能と組み合わせることにより、プログラムリピート、ランダムリピートもできます。

#### 注意

- シングルリピートモードの時に電源を切った場合は、次の電源オン時にはオールリピートモードとなります。
- シングルリピートモードの時にSTOPキーを押した場合は、オールリピートモードになります。

## パワーオンプレーをする

市販のタイマーなどを使って外部から本機に電源を投入することにより、希望のタイミングで本機を再生することができます。

1. あらかじめ、本機の電源をタイマーの電源出力から取るように接続します。
2. 再生するMDをセットします。
3. 本体フロントパネルのPOWER ON PLAYスイッチをPLAYにセットします。このときディスプレイの“⏻”が点灯します。

#### メモ

MDをセットしていない状態でPOWER ON PLAYスイッチをPLAYにセットした場合は、ディスプレイの“⏻”が点滅します。

4. タイマーを希望の時刻にセットします。  
希望の時刻になると本機の電源がオンになり、自動的に再生を始めます。

#### メモ

電源をオフにしたときの再生モードがプログラム再生だった場合は、プログラム内容は電源オフとともに破棄されるため、電源が入ったときに再生モードを通常再生 (Continue) モードに自動的に変更して再生を行います。

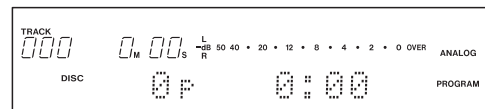
## 希望の曲を希望の順に再生する (プログラム再生)

希望のトラックを希望の順にプログラムして再生することができます。

最大32トラックまでプログラムすることができます。

1. 停止中に、メイン表示部に“Program”を表示するまで本体のPLAY MODEキー、またはリモコンのP.MODEキーを押します。

メイン表示部にプログラム数とプログラム総時間を表示します。



2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのテンキーを使って、プログラムしたいトラック番号を指定し、本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。トラック番号がプログラムされます。
3. 上記の手順2.を繰り返してプログラムしていきます。プログラムするたびに、メイン表示部のプログラム数とプログラム総時間が増えていきます。

#### メモ

プログラムしたトラックの総再生時間が150分00秒以上になるとになると、“---m--s”を表示します。

4. プログラム設定完了後、本体またはリモコンのPLAYキーを押します。  
プログラム順に再生が始まります。

#### 注意

本体またはリモコンのPLAYキーを押さずにSTOPキーを押すとプログラムデータが消滅します。

## プログラム内容を確認するには

再生中または再生一時停止中に、本体のMULTI JOGダイヤルを回す、またはリモコンのSKIP ◀◀ / ▶▶キーを押します。

## プログラムを全て削除する

プログラム再生モードで停止中に本体またはリモコンのSTOPキーを押すと、プログラム内容全てを削除します。

また、本体のPLAY MODEキー、またはリモコンのP.MODEキーを押して再生モードを切り換えた場合も、プログラム内容を全て削除します。

## プログラム曲を削除する

1. 停止中に本体のESCAPEキー、またはリモコンのESC/CLRキーを押すことで最終プログラム番号から削除します。

## プログラム曲を追加する

1. 停止中に本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのテンキーを使って、追加する曲をトラック番号表示部に表示します。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押すと、プログラムの最後に追加されます。

## プログラム上の制約

- グループモードをオンにしている場合は、グループをまたいだプログラムはできません。
- 同じトラックを繰り返してプログラムできます。
- 最大32トラックまでプログラムできます。それ以上プログラムしようとするとメイン表示部に“PGM Full!”を表示し、プロ

## 第5章 再生する

グラムできません。

- プログラムモード時、プログラムデータがないときに、本体またはリモコンの**PLAY**キーを押すと、メイン表示部に“**PGM Empty!**”を表示し、デッキは動作しません。

### プログラムデータの保持に関して

- プログラム再生が終了して停止したとき、または本体またはリモコンの**STOP**キーを押して停止したとき、プログラムデータは保持しています。
- 電源を切ってもプログラム再生モードは解除されません。ただしプログラムデータは消滅します。
- 停止中に本体またはリモコンの**STOP**キーを押すと、プログラムデータを破棄します。
- 停止中に本体の**PLAY MODE**キー、またはリモコンの**P.MODE**キーを押すと、プログラムモードが解除され、プログラムデータを破棄します。
- グループモードのオン/オフを切り換えるとプログラムデータを破棄します。
- グループモードがオンの状態で異なるグループを選択するとプログラムデータを破棄します。
- MDをイジェクトすると、プログラムデータを破棄します（再生モードは変わりません）。

### ランダムに再生する（ランダム再生）

MDの全トラックをトラック番号に関係なく、本機がランダムに選曲して再生します。

1. 停止中に本体の**PLAY MODE**キー、またはリモコンの**P.MODE**キーを押します。ディスプレイの“**RANDOM**”が点灯します。
2. 本体またはリモコンの**PLAY**キーを押します。ランダム再生が始まります。

#### メモ

電源を切ってもランダムモードは解除されません。

### 時間や文字情報の表示を切り換える

#### 時間表示を切り換える

再生中（または再生待機中）に本体またはリモコンの**TIME**キーを押すと、時間表示が以下の順に切り換わります（カッコ内はディスプレイ内の“**REMAIN**”の点灯状態）。

再生時：

トラック経過時間 ↔ トラック残り時間（“**REMAIN**”が点灯）

録音時：

録音経過時間 ↔ MD残り時間（“**REMAIN**”が点灯）

#### メモ

- 再生時のトラック残り時間表示は、そのトラックの最後まで再生するのに要する時間です。録音時の残量表示と異なりますのでご注意ください。

- 停止中は、常にトータル再生時間を表示します。
- 録音中/録音待機中の時間表示については「MDの残り時間を確認する」（24ページ）をご覧ください。
- 時間表示設定は、電源を切っても記憶しています。

### キャラクター表示を切り換える

停止中に、本体またはリモコンの**DISPLAY**キーを押すと、現在のディスクタイトルがメイン表示部に表示され、再生中または再生待機中に押すと、現在のトラックタイトルを表示します。タイトルを記録している場合は、タイトルをスクロール表示後、先頭の12文字を表示します。タイトルを記録していない場合は、メイン表示部に“**No Title**”を表示します。

### グループ再生

本機では、トラックをグループ分けすることができます。グループモードをオンにすると、選択したグループ内のトラックのみが再生対象になります。プログラム再生、リピート再生などもすべてグループ内で行われます。

#### グループ再生の設定

- グループを作成/解除するには、編集メニュー内の項目で行います。詳しくは「グループを作る」（→28ページ）および「グループを解除する」（→28ページ）をご覧ください。
- グループタイトルは、編集メニュー内の項目で付けることができます。詳しくは「グループタイトルを付ける」（→26ページ）をご覧ください。

1. リモコンの**GROUP**キーを押してグループ再生モードをオンにし、メイン表示部に“**Group ON**”を表示します。メイン表示部“**Group OFF**”を表示している場合は、もう一度リモコンの**GROUP**キーを押します。または、本体の**MENU**キーを押し、**MULTI JOG**ダイヤルで、“**GROUP?**”メニューを選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。**MULTI JOG**ダイヤルを使って“**Group> ON**”を選択し、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
2. 停止中、本体の**◀▶**キーまたはリモコンの**SEARCH** **◀▶**キーを使って、グループを選択します。本体の**◀▶**キーまたはリモコンの**SEARCH** **◀▶**キーを押すと、ディスプレイに選択中のグループ番号を表示してからグループタイトルを表示します。

#### 注意

- グループ再生モードをオンにすると、どのグループにも属さないトラックは再生できません。
- グループ再生モードをオンにすると、録音することができません。
- グループ再生モード時は、ランダム再生は選択できません。

録音モードの設定、入力ソースの選択、入力ソースをモニターしながらの録音レベルの調整を順に行い、録音を実行するまでの手順を説明します。

以下の手順では、本機の電源がオンになっていて、本機に録音可能なMDがセットされ停止していることを前提にしています。

## 録音モードを設定する

メインメニューの“REC MODE?”を使って、録音モードを以下の中から選択することができます。

選択肢	モード	ディスプレイ点灯
ST	ステレオ標準録音モード	無点灯
MONO	モノラル録音モード	“MONO”
LP2	ステレオ2倍録音モード	“LP2”
LP4	ステレオ4倍録音モード	“LP4”

- “MONO” を選ぶと、PHONESジャックやリアパネルのANALOG OUTPUT L/R (UNBALANCE / BALANCE) 端子の左右チャンネルから同じ信号を出力します。
- モノラルモードの録音時間は、ステレオ標準録音の2倍になります。
- LP2、LP4モードの録音時間は、ステレオ標準録音のそれぞれ2倍、4倍になります。

### メモ

- MDの録音残り時間表示は、現在の録音モード設定によって変わります。
  - ひとつのMDに、異なるモードの録音を混在させることもできます。
  - LP4モード（4倍録音モード）は、特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。そのため、録音されるソースによっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する恐れがあります。音質を重視する場合は、LP4モードを避けることをお勧めします。
1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。メインメニューモードに入ります。
  2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーを使って“REC MODE?”を選択します。
  3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
  4. ディスプレーのMD録音表示部に表示する録音モードを“ST”、“MONO”、“LP2”、“LP4”の中から選択します。初期値は“ST”です。
  5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押して確定します。

## 入力信号を選択する

本体のINPUT SELECTキー、またはリモコンのINPUT SELキーを使って、入力信号を選択します。

キーを押すたびに、以下のように入力信号が切り換わります。



- “OPTICAL”：OPTICAL端子のデジタル入力
- “COAXIAL”：COAXIAL端子のデジタル入力
- “ANALOG”（点灯）：RCAアンバランスアナログ入力
- “ANALOG”（点滅）：XLRバランスアナログ入力(MD-02Bのみ)

- 入力信号の選択は、電源を切っても記憶しています。
- 入力信号のレベルは、ディスプレイにメーター表示します。

### 注意

録音中は入力信号の選択は、できません。

## 入力信号をモニターする

本体またはリモコンのRECORDキーを押します。

録音待機になり、ディスプレイの“REC”と“II”が点灯します。録音待機になると、入力信号をモニターすることができます。ヘッドホンまたは外部のオーディオシステムを使ってモニターをします。

### 注意

- 以下のようなMDをセットした場合は、録音待機状態になりません。
  - ・ MDが誤消去防止状態の場合：
    - （メイン表示部に“W\_Protected!”を表示）
  - ・ MDの容量いっぱい録音されている場合：
    - （メイン表示部に“Disc Full!”を表示）
  - ・トラック数の限界まで録音されている場合：
    - （メイン表示部に“Track Full!”を表示）
- デジタル入力を選択した場合は、正常なデジタル入力がないとメイン表示部に“D-IN UNLOCK!”を表示し、録音することができません。

### メモ

- 途中まで録音済みのMDを入れると、録音済み部分の終わりを検出して待機します。
- MDをセットしていない場合でも、本体またはリモコンのRECORDキーを押すと入力信号をモニターすることができます。このとき、メイン表示部に“Monitor”と表示します。
- 入力モニターを解除するには、本体またはリモコンのSTOPキーを押します。

### 録音レベルを調節する

入力信号をモニターおよびメーター監視しながら、録音レベルを調節します。

アナログ入力の場合は、本体のINPUTつまみ (L, R) とメインメニュー内の“REC VOLUME?”を使って調節します。最初に“REC VOLUME?”の設定値は“0dB”にしておき、INPUTつまみで調整できないときに、このメニューを使って調節します。

デジタル入力の場合は、メインメニュー内の“REC VOLUME?”を使って調節します。

このとき、ディスプレイのレベルメーターが“OVER”まで振れないように調節します。

### メインメニュー内のREC VOLUMEを使って調節

1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーを使って“REC VOLUME?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーを使って入力レベルを調節します。設定範囲は“-∞”、“-48 ~ +12dB”です。初期値は“0dB”です。
5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押して確定します。

### 録音を実行する

録音待機状態のとき、本体またはリモコンのPLAYキーを押します。録音が始まります。

- 録音を停止するときは、本体またはリモコンのSTOPキーを押します。  
STOPキーを押した後、メイン表示部に“UTOOC Writing”を表示し、U-TOCをMDに書き込みます。
- 録音時、MDの残り時間が4秒になると、自動的にフェードアウトして録音を停止します。
- 本機の最大録音トラック数は、254トラックです。254トラック録音時、本体またはリモコンのREADYキーを押すと録音を終了し、停止します。

#### 注意

メイン表示部に“UTOOC Writing”表示が点滅中は、録音した内容をMDに記録中です。電源プラグを電源コンセントから抜いたり、本機を揺らしたりすると、正しく記録できません。

- 録音を一時停止するときは、本体またはリモコンのREADYキーを押します。
- MDを取り出すには、停止時に本体またはリモコンのEJECTキーを押します。

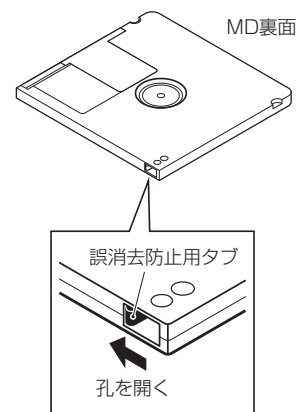
### 録音するときの注意

#### “W\_Protected !” を表示したときは

- MDの誤消去防止用タブが開いて録音不可状態になっています。または再生専用のMDが入っています。
- この場合は、誤消去防止用タブをずらして孔を閉じると、録音ができるようになります。

#### 録音内容を誤って消さないために

- MDは録音後、誤消去防止用のタブをずらし、孔を開いた状態にすると、録音できなくなります。



### トラック番号を更新する（繰り上げる）

曲ごとにトラック番号を付けておくと、編集や再生時の頭出しに便利です。トラック番号は、録音時に自動あるいは手動で更新する（繰り上げる）ことができるほか、録音後に編集することもできます。

#### 注意

- 254トラックを録音しているときは、更新できません。
- MDの残り時間が4秒未満のときは、更新できません。

#### 自動でトラック番号を更新する (オートトラック機能)

オートトラック機能を使って、録音中に自動でトラック番号を更新していくことができます。

オートトラックのモードを、リモコンのAUTO TRACKキーで“OFF”、“Level”、“Time”の中から選択します。メニュー内の“A\_TRK?”で選択することもできます。

1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーを使って“A\_TRK?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーを使って“OFF”、“Level”、“Time”の中から選択します。初期値は“OFF”です。

5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押して確定します。

#### “Level” を選択した場合：

入力信号がアナログで-41dBを下回る入力が2秒以上続いた後、-41dBを超える入力を検出したとき、トラックを更新します（繰り上げます）。

入力信号がデジタル（COAXIALまたはOPTICAL）で、入力ソースがCDまたはMDではないとき、-61dBを判定基準としてトラックを更新します。入力ソースがCDまたはMDのとき、トラック情報とレベル両方を検出したときにトラックを更新します。

#### “Time”を選択した場合：

オートトラック動作時間で設定した時間が経過すると自動的にトラック番号を更新します。この動作時間は、メインメニューの“A\_TRK TIME?”を使って設定します。

### オートトラック動作時間設定

1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーを使って、“A\_TRK TIME?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーを使って動作時間を設定します。設定範囲は“1”分～“10”分（1分単位）です。初期値は“5”分です。
5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押して確定します。

#### メモ

オートトラック機能の設定やオートトラック動作レベル、オートトラック動作時間設定は、電源を切っても保持します。  
録音中にオートトラック動作時間を変更した場合は、次のトラックから変更後の時間が有効となります。

### 手動でトラック番号を更新する

録音中に、希望の箇所では本体またはリモコンのRECORDキーを押すことにより、トラック番号を更新することができます。

### 録音後にトラック番号を更新する

編集操作でトラックを分割することにより、トラックを追加することができます（→26ページ「トラックを分割する（DIVIDE）」）。また編集操作でトラックを結合することにより、トラックを減らすことができます（→27ページ「トラックを結合する（COMBINE）」）。

## フェードイン／フェードアウト録音

録音を開始するときにフェードイン、録音を終了するときにフェードアウトすることができます。

以下の手順では、録音の準備が整い、録音可能なMDをセットして停止していることを前提にしています。

1. 録音待機時に、リモコンのFADERキーを押します。  
設定した時間をかけてフェードインしながら録音が始まります。
2. 録音中に、フェードアウトしたいところで、リモコンのFADERキーを押します。  
設定した時間をかけてフェードアウトし、録音待機になります。

### メニューでフェードインタイム／フェードアウトタイムを設定する

1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーを使って“FADE IN?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーを使ってフェードインタイムを設定します。設定範囲は“1”～“10”秒（1秒単位）です。初期値は“3”秒です。
5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押して確定します。
6. 同じ手順で、“FADE OUT?”でフェードアウトタイムを設定します。

#### メモ

- フェードインまたはフェードアウトだけ実行することもできます。
- フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。

### シンク録音する

シンク録音とは、入力信号のレベルを検出し、自動的に録音をスタート、一時停止する機能です。

シンク録音機能をオンにすると、録音待機状態のとき、アナログ入力で-41dB、デジタル入力で-61dBを超える入力を検出したとき、自動的に録音を始めます。

録音中に、アナログ入力で-41dB、デジタル入力で-61dBを下回る入力が8秒以上続いたとき、録音待機になります。このとき、前述のレベルを超える入力を検出したとき、自動的に録音を始めます。このときトラック番号は更新されます（繰り上がります）。

以下の説明は、基本的な録音の準備が整い、録音可能なMDをセットして停止していることを前提にしています。

1. 本体またはリモコンの**RECORD**キーを押して録音待機状態にします。
2. 本体またはリモコンの**SYNC**キーを押して、シンク録音モードのオン/オフを切り換えます。  
シンク録音の準備が整うとメイン表示部に“Sync Ready”と表示します。

#### 注意

このときすでにソースを入力していると、すぐに録音を開始します。

3. ソース信号を入力します。  
入力信号を検出して自動的に録音が始まります。  
入力信号が8秒以上続けて上記レベル以下になると、録音待機状態になり、メイン表示部に“Sync Standby”と表示してシンク録音準備に移ります。シンク録音準備が整ったところで、メイン表示部に“Sync Ready”と表示します。
4. 手動で録音を停止するには、本体またはリモコンの**STOP**キーを押します。

#### メモ

シンク録音中、フェードインが動きません。

#### 注意

- シンク録音待機中に本体またはリモコンの**PLAY**キーを押して手動で録音を始めることはできません。
- メイン表示部に“Sync Standby”表示中、入力信号を検出してもシンク録音は開始しません。
- シンク録音後、録音待機状態のまま電源をオフにすると、録音データが消去されます。必ず本体またはリモコンの**STOP**キーを押して（U-TOCを書き込んで）から電源をオフにしてください。

### MDの残り時間を確認する

録音中（または録音待機中）に本体またはリモコンの**TIME**キーを押すと、トラック経過時間とMD残量時間を交互に表示します。

ディスプレイの点灯	時間表示内容
無点灯	トラック経過時間
“REMAIN”	MD残量時間



録音したトラックを消したり、移動したり、分割したり、2つのトラックをつなぐなどの編集ができます。またトラックをグループ分けすることができます。

## メモ

編集操作は再生モードが通常再生 (Continue) モードのときで、グループ再生モードがオフのときにのみ実行可能です。

## 編集操作について

すべての編集は、編集メニュー内の項目を使って行います。編集メニュー内の項目を選択したあとの操作は、項目によって異なります。各編集メニュー項目の具体的な操作については、以下の個別の編集機能説明の中で述べます。

## メモ

誤消去防止状態のMDは、録音だけでなく編集もできません。編集メニュー内の項目を選択しようとすると、メイン表示部に“W\_Protected!”を表示します。

## 編集対象トラック／ポイントについて

編集メニュー内の項目“DIVIDE”、“COMBINE”は、あらかじめ編集対象のトラックやポイントを再生状態または再生待機状態にしておかないと、項目自体を選択できません（メイン表示部に“Can't Edit!”を表示）。

## 編集を実行しないで途中でやめるには

設定表示や確認表示 (“Sure?”)まで進んでから編集操作を中止するには、本体またはリモコンのSTOPキーを押します。項目選択中に編集メニューを抜けるには、EDITキーを押します。

## タイトルの入力方法

メイン表示部にカーソルが点滅した状態がタイトル編集モードです。

### ●入力する文字種を選択するには

本体またはリモコンのDISPLAYキーを押すと、以下の3通りの文字種が切り換わります。

- 英小文字／記号（無表示）
- 英大文字／記号（ディスプレイに“CAPS”点灯）
- カタカナ（ディスプレイに“カタカナ”点灯）

### ●入力するには

本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーまたはSKIP ◀◀/▶▶キーで、カーソルの位置の文字を選択します。

### ●カーソルを移動するには

本体の◀▶キーまたはリモコンのSEARCH ◀◀/▶▶キーを使います。

### ●文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせて、本体のPLAY MODE [DEL]キー、またはリモコンのP.MODEキーを押します。

### ●文字を挿入するには

挿入したい位置にカーソルを置き、本体のEDIT [INS]キー、またはリモコンのEDITキーを押します。

### ●文字を修正するには

修正したい文字にカーソルを合わせて、希望の文字を入力します。

## メモ

タイトルを入力しているとき、本体またはリモコンのSTOPキーを押すと、入力内容をキャンセルし、タイトル入力モードを抜けます。

## 注意

タイトルを設定後にMDを入れたまま (“TOC”点灯)電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してください。

## ディスクタイトルを付ける

1. 停止中、本体またはリモコンのEDITキーを押します。編集メニューモードに入ります。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーで“TITLE INPUT?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。メイン表示部に“Title> Disc”を表示します。

## ヒント

上記手順の1.と2.の代わりに、リモコンのTITLEキーを押すことにより、上記と同じようにメイン表示部に“Title> Disc”を表示します。

4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。メイン表示部に現在のディスクタイトルを表示し、タイトル編集モードになります（カーソルが点滅します）。

## メモ

現在タイトルがない場合は、何も表示しません（カーソル点滅のみ）。

5. 以下の「タイトルの入力方法」要領に従ってタイトルを付け、本体またはリモコンのMENUキーを押して確定します。
6. MDを取り出してください。

## 注意

- グループ設定をしているディスクの場合は、グループモードをオンにしてタイトルを付けてください。グループモードをオフにしてディスクタイトルを変更すると、グループ設定が無効になる場合があります。
- タイトルを設定後にMDを入れたまま (“TOC”点灯)電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してください。

### トラックタイトルを付ける

1. 停止中、本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで  
“**TITLE INPUT?**” を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
メイン表示部に “**Title> Disc**” を表示します。

#### ヒント

上記手順の1.と2.の代わりに、リモコンの**TITLE**キーを押すことにより、上記と同じようにメイン表示部に “**Title> Disc**” を表示します。

4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで、  
タイトルを付けるトラックを選択します。  
例えば、トラック3を選択する場合は、“**Title> 3**” を選択します。
5. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
メイン表示部に現在のトラックタイトルを表示し、タイトル編集  
モードになります（カーソルが点滅します）。

#### メモ

現在タイトルがない場合は、何も表示されません（カーソル点滅のみ）。

6. 上記の「タイトルの入力方法」の要領に従ってタイトルを付け、  
本体またはリモコンの**MENU**キーを押して確定します。
7. MDを取り出してください。

#### 注意

タイトルを設定後にMDを入れたまま（“**TOC**”点灯）電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してしてください。

### グループタイトルを付ける

1. 停止中、本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで  
“**TITLE GROUP?**” を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
メイン表示部に “**Title Grp> ##**”（##はグループ番号）を  
表示します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
メイン表示部に現在のトラックタイトルを表示し、タイトル編集  
モードになります（カーソルが点滅します）。またトラック番  
号表示部にグループ番号が点滅します。

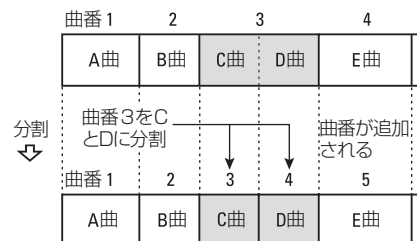
5. 上記「タイトルの入力方法」の要領に従ってタイトルを付け、  
本体またはリモコンの**MENU**キーを押して確定します。
6. MDを取り出してください。

#### 注意

タイトルを設定後にMDを入れたまま（“**TOC**”点灯）電源を切ると、U-TOCが記録されず、付けたタイトルが無効になります。MDを取り出すことによりU-TOCを記録しますので、タイトルを付けた後は、必ず一旦MDを取り出してしてください。

### トラックを分割する（DIVIDE）

トラックを現在の位置で2つに分割します。



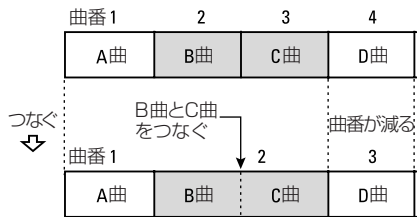
1. 分割したいトラックを再生、または再生待機状態にします。
2. 本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで  
“**DIVIDE?**” を選択します。
4. トラックを分割したいポイントの手前から再生を行い、分割し  
たいポイントで本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコン  
の**ENTER**キーを押します。  
あらかじめ分割したいポイントで再生待機している場合は、本  
体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押  
します。  
メイン表示部に “**Point> 0**” を表示し、確認のために分割ポ  
イント（=上記のキー操作を行ったときのポイント）の直後の数  
秒間が繰り返し再生されます。
5. 必要に応じて、本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコン  
の **-/+**キーを使って、分割するポイントを調整します。
6. ポイントが設定できたら、本体の**MULTI JOG**ダイヤル、また  
はリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に “**Sure?**” を表示します。
7. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
トラックが分割されます。分割が完了するとメイン表示部に  
“**Complete**” を表示します。

#### メモ

- トラックにタイトルが付いている場合は、分割されたトラック  
の後ろのトラックにも同じタイトルが付きます。
- 以降のトラックのトラック番号は、一つ繰り上がります。
- 各トラックの先頭では、この編集は行うことができません。

## トラックを結合する (COMBINE)

2つの連続したトラックを結合して1つのトラックにします。



### メモ

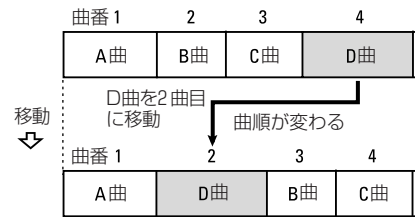
- 異なるモードで録音したトラック同士を結合することはできません。
  - 3トラック以上をつなげる場合は、ST（標準）モードで約9秒、MONOモードおよびLP2モードで約17秒、LP4モードで約33秒以下のトラックをつなげることはできません。
- 結合したい2つのトラックのうちのあとの方のトラックを再生または再生待機にします。  
たとえば、トラック2とトラック3を結合する場合は、トラック3を再生または再生待機にします。
  - 本体またはリモコンのEDITキーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーで“COMBINE?”を選択します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。  
メイン表示部に“Track OK?”を表示し、確認のために、手前のトラックの最後の3秒間とあとのトラックの頭の3秒間を繰り返し再生します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。  
トラックが結合されます。結合が完了するとメイン表示部に“Complete”を表示します。

### メモ

- 両方のトラックにタイトルが付いている場合は、結合されたトラックには前のトラックのタイトルが付きます。
- 以降のトラックのトラック番号は、一つ繰り下がります。
- MDの先頭トラックでは、この編集は行うことができません。メイン表示部に“1st Track!”を表示します。

## トラックを移動する (MOVE)

トラックを移動してトラック順を変更します。



- 移動元のトラックを再生または再生待機にします。

### メモ

- この操作を行わずに停止状態で以後の操作を行うと、自動的に最終トラックが移動元に設定されます。後で移動元のトラックを変更することもできます。
- 本体またはリモコンのEDITキーを押します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーで“MOVE?”を選択します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。  
メイン表示部に“Move xxx > ###”を表示します。  
(xxxは移動元トラック番号、###は移動先トラック番号)
  - 必要に応じて、本体の<</>>キー、またはリモコンのSEARCH <</>>キーで移動元のトラック番号を選択します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの-/+キーを使って、移動先のトラック番号を選択します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンENTERキーを押します。  
メイン表示部に“Sure?”を表示します。
  - 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンENTERキーを押します。  
トラックが移動します。移動が完了するとメイン表示部に“Complete”を表示します。

### メモ

編集作業後、トラック番号をふりなおします。

### グループを作る

本機では、1枚のMDの中のトラックをグループ分けして、グループ単位の再生を行うことができます（→20ページ「グループ再生」）。

グループを作るには「現在録音されているトラックの何番（スタートトラック）から何番（エンドトラック）までを1つのグループにまとめる」という指定を行います。

1. 停止中に、本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで“**GRP CREATE?**”を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に“**ST Trk> 001**”を表示します。  
この表示のときにスタートトラック（グループの第1トラック）を選択します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで、スタートトラックを選択します。
5. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に“**ED Trk> ###**”を表示します。  
この表示のときにエンドトラック（グループの最終トラック）を選択します。
6. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで、エンドトラックを選択します。
7. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に“**Sure?**”を表示します。
8. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
グループが作成されます。完了するとメイン表示部に“**Complete**”を表示します。

#### メモ

- グループ作成時にグループ番号を付けます。
- 新規に作成されたグループ以降のグループ番号は、繰り上がります。
- グループ番号は、トラック番号の順番で付きます。
- 一つのトラックを複数のグループに含めることはできません。

#### 注意

##### グループ作成時のディスクタイトル

MD-02/MD-02Bではグループを作成しても、ディスクタイトル表示が変わることはありません。ただし、内部では、グループを作成すると、グループ情報およびグループタイトルを含むディスクタイトルが自動的に作成されるため、実際にはディスクタイトルが変更されています。

例えば、ディスクタイトルが“**My Best**”、トラック1～4をまとめて“**Jazz**”というグループにまとめ、トラック5～8を“**Latin**”というグループにまとめた場合は、次のようなディス

クタイトルになります。

**0 : My Best//1-4 : Jazz//5-8 : Latin//**

ディスクタイトルもグループタイトルも付けない場合は、以下のディスクタイトルになります。

**0 : //1-4 : //5-8 : //**

MD-02/MD-02Bでグループを作成したディスクをMD-350やMD-CD1MK2などに挿入すると、上記のようなディスクタイトルを表示します。

### グループを解除する

以下操作でグループを解除します。

1. 停止中に、本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで“**GRP CANCEL?**”を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に“**Group No> 01**”を表示します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで、解除するグループ番号を選択します。  
現在ある個々のグループ番号のほかに“**ALL**”（全グループ）を選択することもできます。
5. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に“**Sure?**”を表示します。
6. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
グループが解除します。完了するとメイン表示部に“**Complete**”を表示します。

#### メモ

解除されたグループ以降にグループが存在する場合は、以降のグループ番号が繰り下がります。

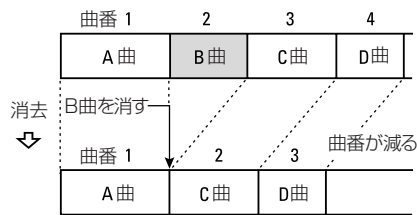
### 全トラックを消去する（ERASE DISC）

MDの全トラックを一度に消去します。

1. 本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで“**ERASE DISC?**”を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に“**Sure?**”を表示します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
MDの全トラックを消去します。消去が完了するとメイン表示部に“**Complete**”を表示します。

## トラックを消去する (ERASE TRK)

消去したいトラックを1トラックずつ消去することができます。



1. 停止中、本体またはリモコンの**EDIT**キーを押します。  
編集メニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで  
“ERASE TRK?” を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
“Track> ###” (### は最終トラック番号) を表示します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで、  
消去したいトラックを選択します。
5. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
メイン表示部に “Sure?” を表示します。
6. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを  
押します。  
トラックが消去されます。消去が完了するとメイン表示部に  
“Complete” を表示します。

### メモ

トラックを消去すると、次トラック以降のトラック番号が1つ  
ずつ繰り上がります。

# 第8章 コンピューターキーボードを使った操作

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを本機フロントパネルに接続することにより、キーボードを使って本機を操作する、またはタイトルを入力を効率的に行うことができます。

## キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。

1. 本体またはリモコンのMENUキーを押します。
2. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーで“KEYBOARD?”を選択します。
3. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。
4. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンの -/+キーで、接続するキーボードタイプを選択します。  
日本語対応キーボードの場合は、“JP”を選択します。  
英語対応キーボードの場合は、“US”を選択します。
5. 本体のMULTI JOGダイヤル、またはリモコンのENTERキーを押します。

## キーボードを使ってタイトルを入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、ディスクタイトル、トラックタイトル、グループタイトルを入力することができます。

### ●タイトル編集するには

SHIFT + F7 キーで、グループタイトル編集メニューモードに入ります (“Title Grp>##” を表示)。

SHIFT + F8 キーで、ディスク/トラックタイトル編集メニューモードに入ります (“Title> ##” を表示)。

### ●入力する文字種を選択するには

CAPSキー：「英大文字」を選択/解除します。

カタカナキー：「カタカナ」を選択/解除します。

上記のどちらも解除のとき：「英小文字」になります。

### ●入力するには

数字キー、文字キーで直接入力

### ●カーソルを移動するには

←/→キーを使います。

### ●文字を削除するには

Deleteキー：カーソル位置の文字を削除します。

Back Spaceキー：カーソル手前の文字を削除します。

### ●文字を挿入するには

希望の位置でInsertキーを押します。

### ●文字を修正するには

カーソルを合わせて上書きします。

## キーボード操作一覧

タイトルの入力だけでなく、トランスポートコントロール、編集など、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。

キーボードのキー	動作
F1 キー	◀◀キーと同じ
F2 キー	▶▶キーと同じ
F3 キー	(割り当てなし)
F4 キー	STOPキーと同じ
F5 キー	PLAYキーと同じ
F6 キー	READYキーと同じ
F7 キー	(割り当てなし)
F8 キー	RECORDキーと同じ
F9 キー	(割り当てなし)
F10 キー	REPEATキーと同じ
F11 キー	PLAY MODEキーと同じ
F12 キー	(割り当てなし)
SHIFT + F1 キー	編集 “ERASE TRK” へ
SHIFT + F2 キー	編集 “ERASE DISC” へ
SHIFT + F3 キー	(割り当てなし)
SHIFT + F4 キー	編集 “MOVE” へ
SHIFT + F5 キー	編集 “DIVIDE” へ
SHIFT + F6 キー	編集 “COMBINE” へ
SHIFT + F7 キー	タイトル編集 “TITLE GRP” へ
SHIFT + F8 キー	タイトル編集 “TITLE INPUT” へ
SHIFT + F9 キー	(割り当てなし)
SHIFT + F10 キー	編集 “GRP CANCEL” へ
SHIFT + F11 キー	編集 “GRP CREATE” へ
SHIFT + F12 キー	(割り当てなし)
CAPSキー	「英大文字」を選択/解除
カタカナキー	「カタカナ」を選択/解除
数字キー / 文字キー	数字 / 文字の入力
←/→キー	カーソルを移動
Deleteキー	タイトル入力時にカーソルの位置の文字を削除
Back Spaceキー	タイトル入力時にカーソル手前の文字を削除
Insertキー	タイトル入力時にカーソルの位置にスペースを挿入
ESCキー	編集 / タイトル編集をキャンセルしてメニューモードを終了
Enterキー	ENTERキーと同じ

## サービスデータの確認

メインメニューの中の以下の項目から、サービスデータを確認することができます。

- **“PLAY\_TIME”**：MDデッキの総再生時間を表示します。
  - **“REC\_TIME”**：MDデッキの総録音時間を表示します。
1. 本体またはリモコンの**MENU**キーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
  2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで、**“PLAY TIME?”** もしくは **“REC TIME?”** を選択します。
  3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。

## 各種設定の初期化

各種設定を、工場出荷状態にする事ができます。

1. メイン表示部に **“No Disc”** 状態中、本体またはリモコンの **MENU**キーを押します。  
メインメニューモードに入ります。
2. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの **-/+**キーで **“F\_PRESET?”** を選択します。
3. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
メイン表示部に **“Sure?”** を表示します。
4. 本体の**MULTI JOG**ダイヤル、またはリモコンの**ENTER**キーを押します。  
各種設定が工場出荷状態となります。

### メモ

- メイン表示部の **“Complete”** 表示が消えるまで、電源を切らないでください。
- **“PLAY\_TIME”** および **“REC\_TIME”** は初期化されません。

# 第10章 システム上の制約

本機を使用中、以下のような症状が出る場合がありますが、これらはMDシステム上の制約によるものです。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **録音可能時間内であっても“Track Full!”を表示する。**  
時間に関係なく、トラック数がいっぱいになると**“Track Full!”**を表示します。本機の最大録音トラック数は254トラックです。さらにトラックを追加録音するには、不要なトラックを消すか、トラックを結合するか、あるいは別のMDに分けて録音してください。
- **トラック数も録音時間も余裕があるのに“Track Full!”を表示する。**  
トラック中にエンファシス情報などの入切が行われると、これらはトラックの区切りと同じ扱いになるため、時間やトラック数に関係なく**“Track Full!”**を表示する場合があります。また、短いトラック（ST：9秒以下、LP2：17秒以下、MONO：17秒以下、LP4：33秒以下）のトラックが作成された場合も、管理上の仕様により、削除しても**“Track Full!”**と表示する場合があります。
- **トラックを消したがMDの残り時間が増えない。**  
MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視されるので、短いトラックを消しても時間が加算されないことがあります。
- **録音経過時間と残量時間の合計が、MDの録音可能時間と一致しない場合がある。**  
通常、1クラスタ（約2秒）が最小単位で録音されます。それに満たないものでも、2秒分のスペースを使うため、実際に使用可能な時間は少なくなります。またMDに傷があると、傷の部分を自動的に削除するので、その部分の時間が減ります。
- **トラックを結合する（COMBINE）ことができない場合がある。**
  - 編集してできたトラックは、結合できない場合があります。
  - 録音モード（ST、MONO、LP2、LP4）の異なるトラックをつなげることはできません。
  - 3トラック以上をつなげる場合は、STモードで約9秒、MONOモードおよびLP2モードで約17秒、LP4モードで約33秒以下のトラックをつなげることはできません。
- **サーチを行うと音とぎれることがある。**  
編集してできたトラックは、サーチすると音とぎれる場合があります。
- **トラック番号が正確に付かないことがある。**  
デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によっては、短いトラックができる場合があります。また、オートトラック機能を使って自動的にトラック番号を付けた場合は、録音するものの内容によってトラック番号が正確につかないことがあります。
- **“TOC Reading”表示がなかなか消えない。**  
新品の録音用MDをセットすると、通常よりもメイン表示部の**“TOC Reading”**表示が長くなります。
- **タイトルが1700文字入らない。**  
タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されます。7文字以下のタイトルでも7文字分のスペースを使うため、1700文字入りきらない場合があります。

# 第11章 メッセージ一覧

## 動作メッセージ

本機の動作に応じて、ディスプレイのメイン表示部に以下のメッセージを表示します。

メッセージ	内容 / 対処方法
Blank Disc	何も録音されていない録音用MDが入っています。
UnknownDisc!	MDに異常があります。MDを交換してください。
Complete	編集が正常に完了しました。
TOC Reading	TOC情報読み取り中です。
UTOOC Writing	U-TOC情報書き込み中です。
Now Editing	Edit実行中です。

## 警告メッセージ

操作を受け付けない場合は、ディスプレイのメイン表示部に以下のようなメッセージを表示します。

メッセージ	内容 / 対処方法
Disc Error!	MDに異常があります。MDを交換してください。
Disc Full!	MDの残り時間が無いため、録音できません。
Title Full!	タイトルがいっぱいです。
D-IN UNLOCK!	デジタル入力が接続されていません。 <b>DIGITAL IN</b> 端子に接続した機器の電源を入れてください。
Not Execute!	MDのシステム上の制約により、編集が完了できませんでした。
Not Audio!	DIGITAL INからの入力信号がオーディオ信号ではありません。
PGM Empty!	プログラムされていません。
PGM Full!	これ以上プログラムできません。
W_Protected!	MDが誤消去防止状態になっています。
Pre Master!	再生専用のMDが入っています。
Can't Edit!	MDのシステム上の制約、編集状態の制限により、編集できません。
Group Mode!	グループモードがオンのため、編集できません。
NotContinue!	再生モードがコンティニューモードではないため編集できません。
Not Stopped!	停止状態ではないため編集できません。
Sync Rec ON!	シンク録音待機中のため、手動での録音開始ができません。
Rec Execute!	録音動作を行ったため、録音モードの変更ができません。
Can't Sel!	選択禁止状態時のため、メニューの選択ができません。
Mecha Error!	MDの読み込みや録音、再生にエラーが発生しました。やり直してください。
No Group!	グループが登録されていません。
Entry Track!	すでにグループ登録されているトラックを登録しようとしています。
Random Mode!	再生モードがランダムモードのため、グループモードをONにできません。



## 第12章 トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センターにご連絡ください。

### ● 電源が入らない。

↓

- 電源プラグの差し込みが不完全ではありませんか？

### ● “Disc Error!”、“Mecha Error!” を表示する。

↓

- MD内のディスクの汚れが考えられます。MDを交換してください。

### ● “System Err!” を表示する。

↓

- MDデッキの故障が考えられます。ティアック修理センターにご連絡ください。

### ●再生できない。

↓

- 結露していませんか？
- 結露している場合はMDを取り出して、電源をオフにしたまま数時間放置してください。

### ●音が出ない。

↓

- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 音量等、アンプの操作を確認してください。

### ●録音できない。

↓

- MDが誤消去防止状態になっている場合は、誤消去防止タブをスライドさせて孔をふさいでください。
- システムとの接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルを調節してください。
- 再生専用のMDには録音できません。録音用MDと交換してください。
- MDの残り時間が足りない場合は、不要なトラックを消去するかMDを交換してください。
- アンプの操作を確認してください。
- 本機では、モード設定を変更するたびにバックアップしています。電源を切るタイミングによっては、バックアップに失敗してしまう場合がありますので、変更した直後に電源を切らないでください。

### ●雑音がする。

↓

- テレビなど強い磁気を帯びたものから十分離して設置してください。

# 第13章 仕様

## 定格

- **使用ディスク**：MD（ミニディスク）
- **チャンネル数**：2チャンネル（STEREO）  
1チャンネル（MONO）
- **記録モード**：STEREO/MONO/LP2/LP4
- **記録方式**：Magnetic field modulation overwrite
- **録音時間**：74分（標準）、148分（MONO）、148分（LP2）、296分（LP4）、（74分MD使用時）
- **サンプリング周波数**：44.1kHz
- **圧縮方式**：ATRAC  
（Adaptive TRansform Acoustic Coding）

## 入出力定格

### アナログオーディオ入出力定格

- **ANALOG INPUT [BALANCED] 端子 (MD-02Bのみ)**  
コネクター：XLR-3-31相当  
規定入力レベル：+4dBu  
最大入力レベル：+20dBu  
最小入力レベル：-8dBu  
入力インピーダンス：14k $\Omega$
- **ANALOG INPUT [UNBALANCED] 端子**  
コネクター：RCAピンジャック  
規定入力レベル：-10dBV  
最大入力レベル：+6dBV  
最小入力レベル：-22dBV  
入力インピーダンス：22k $\Omega$
- **ANALOG OUTPUT [BALANCED] 端子(MD-02Bのみ)**  
コネクター：XLR-3-32相当  
規定出力レベル：+4dBu  
最大出力レベル：+20dBu  
出力インピーダンス：200 $\Omega$
- **ANALOG OUTPUT [UNBALANCED] 端子**  
コネクター：RCAピンジャック  
規定出力レベル：-10dBV  
最大出力レベル：+6dBV  
出力インピーダンス：200 $\Omega$
- **PHONES端子**  
コネクター：ステレオ標準ホンジャック  
最大出力レベル：45mW+45mW以上  
（MD MONITOR時、THD+N 0.1%以下、32 $\Omega$ 負荷）

## デジタルオーディオ入出力定格

- **DIGITAL INPUT [COAXIAL] 端子**  
コネクター：RCAピンジャック  
対応信号フォーマット：IEC60958-3 (S/PDIF)  
入力インピーダンス：75 $\Omega$ （アンバランス）
- **DIGITAL INPUT [OPTICAL] 端子**  
コネクター：TOS（JEITA RC-5720C）  
対応信号フォーマット：IEC60958-3 (S/PDIF)
- **DIGITAL OUTPUT [COAXIAL] 端子**  
コネクター：RCAピンジャック  
対応信号フォーマット：IEC60958-3 (S/PDIF)  
出力インピーダンス：75 $\Omega$ （アンバランス）
- **DIGITAL OUTPUT [OPTICAL] 端子**  
コネクター：TOS（JEITA RC-5720C）  
対応信号フォーマット：IEC60958-3 (S/PDIF)

## コントロール入力定格

- **KEYBOARD**：  
PS/2キーボード接続用  
コネクター：ミニDINコネクター

## オーディオ性能

- **周波数特性**：20Hz～20kHz、 $\pm 0.5$ dB
- **S/N比**：94dB以上（再生時、20kHz LPF + A- weighted）  
92dB以上（録音時、20kHz LPF + A- weighted）
- **歪率（THD+N）**：  
0.006%以下（再生時、1kHz：20kHz LPF）  
0.008%以下（録音時、1kHz：20kHz LPF）
- **ダイナミックレンジ**：  
94dB以上（再生時、20kHz LPF + A- weighted）  
92dB以上（録音時、20kHz LPF + A- weighted）
- **チャンネルセパレーション**：  
80dB 以上（再生時、1kHz：1kHz BPF）  
80dB 以上（録音時、1kHz：1kHz BPF）

## バックアップメモリー

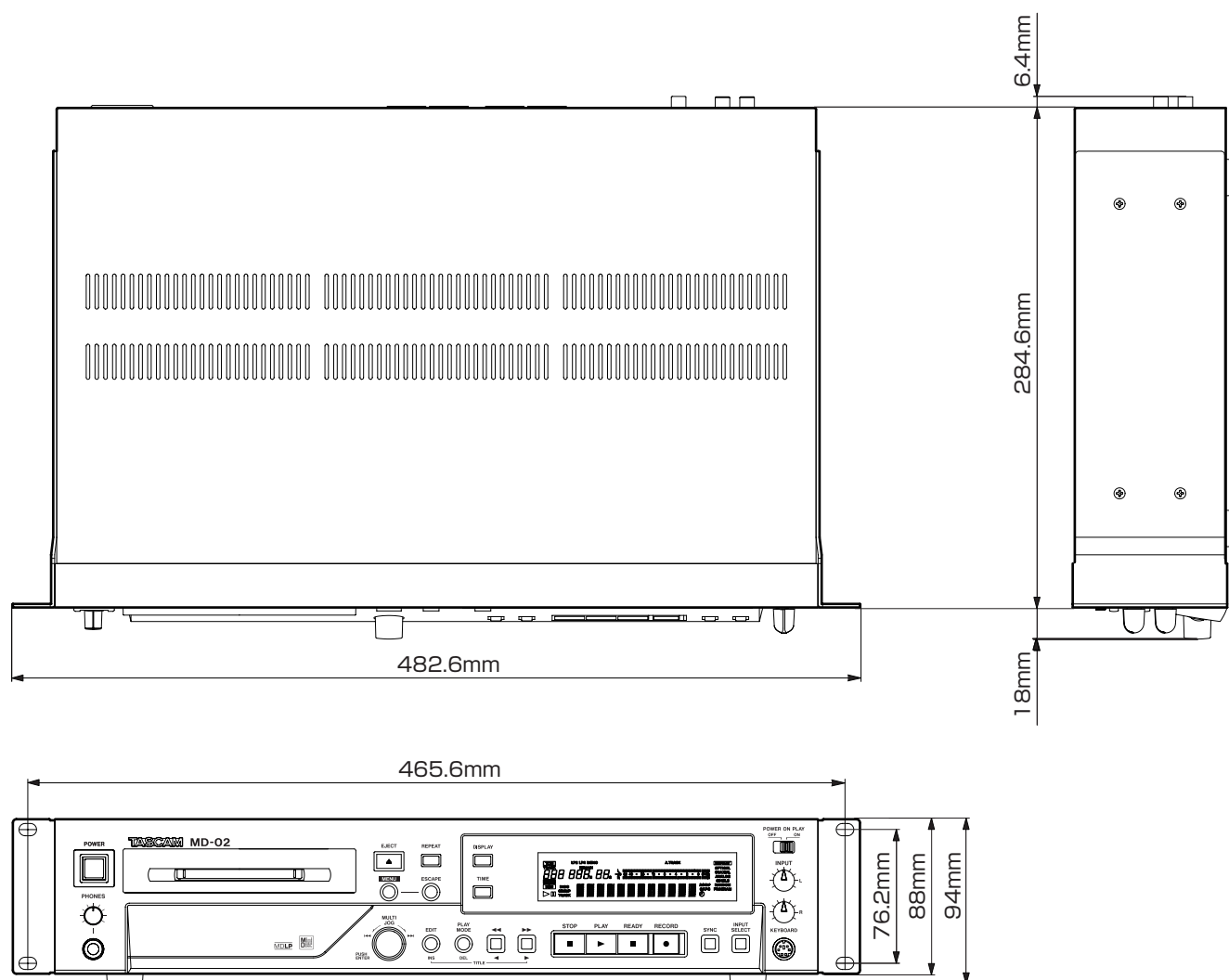
本機は電源をオフにしても、以下の設定をバックアップします。

- リピートモード設定（オールリピートのみ）
- 時間表示設定
- メニュー項目
- 入力信号選択
- 再生モード

## 一般

- 電源：AC 100V、50-60 Hz
- 消費電力：8W
- 外形寸法：482.6 x 94 x 308.7mm（幅 x 高さ x 奥行き）
- 質量：4.4kg（MD-02）、4.5kg（MD-02B）
- 動作温度：5～35℃
- 設置時傾斜：5度以内

## 寸法図



- \* 仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- \* 製品の改善により、取扱説明書のイラストなどが、一部製品と異なることがあります。あらかじめご了承ください。
- \* 寸法図はMD-02のものですが、MD-02Bも同じ寸法です。

## この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00/13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

## 故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡 2-2-8



ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。

このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47  
<http://www.tascam.jp/>